

3

パソコンを持ち歩く

- 1** バッテリーを使う 92
- 2** バッテリーを節約する 98



① バッテリーを使う

バッテリーを充電して、または充電したバッテリーパックと交換して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

ご購入時は、バッテリーは十分に充電されていません。

本製品を初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してからお使いください。

☞ バッテリーの充電 ☞ 「1章 4 バッテリーの充電」

☞ バッテリーパックの交換 ☞ 「本節 4 バッテリーパックを交換する」

① バッテリー充電量の確認をする

バッテリー駆動で使う場合、バッテリー充電量を確認しておかないと使用中にバッテリーの充電量が減少し、途中で作業を中断したり、あわてて電源コードを接続することになります。バッテリー充電量を確認するには、次の方法があります。

● Battery □ LED で確認する

ACアダプタを接続したとき、Battery □ LED が緑色に点灯すれば充電完了です。オレンジ色に点灯あるいは点滅した場合は、バッテリーパックの充電が必要です。

☞ Battery □ LED ☞ 「1章 4-3 バッテリーに関する表示」

● アイコンで確認する

● Windows 98 の場合

タスクバーの省電力アイコン（）の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

ACアダプタを接続している場合



ACアダプタを接続していない場合



（表示例）

このときバッテリー充電量以外にも、現在使用している省電力モード名や、使用している電源の種類が表示されます。バッテリー駆動で使用している場合には、バッテリー動作予想時間も表示されます。



メモ

- ・タスクバーに表示される省電力アイコンの絵は現在使用されている省電力モードにより変わります。
- ・省電力ユーティリティの [電源設定] タブの設定内容によっては、タスクバーに省電力アイコンが表示されません。表示させたいときは、[電源設定] タブで [タスクバーに省電力モードの状態を表示する] をチェックしてください。

Windows 95 の場合

タスクバーのバッテリーメーターアイコン ( または ) の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

ACアダプタを接続している場合



ACアダプタを接続していない場合



(表示例)

また、ダブルクリックすると、バッテリーメーターの画面が表示されます。バッテリーメーターアイコン () が表示されていない場合は、[コントロールパネル]-[パワーマネージメント]をダブルクリックすると、電源のプロパティが表示されます。「タスクバーにバッテリーの状態を表示」をチェックすると、タスクバーにバッテリーメーターアイコン () を表示します。

Windows 2000 の場合

タスクバーの省電力アイコン () の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

ACアダプタを接続している場合



ACアダプタを接続していない場合



(表示例)

このときバッテリー充電量以外にも、現在使用している省電力モード名や、使用している電源の種類が表示されます。バッテリー駆動で使用している場合には、バッテリー動作予想時間も表示されます。



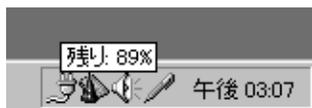
メモ

- ・タスクバーに表示される省電力アイコンの絵は現在使用されている省電力モードにより変わります。
- ・省電力ユーティリティの [電源設定] タブの設定内容によっては、タスクバーに省電力アイコンが表示されません。表示させたいときは、[電源設定] タブで [タスクバーに省電力モードの状態を表示する] をチェックしてください。

Windows NT の場合

タスクバーのバッテリーインジケータアイコン ( または ) の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

ACアダプタを接続している場合



ACアダプタを接続していない場合



(表示例)

また、ダブルクリックすると、バッテリーメーターの画面が表示されます。

② バッテリーの使用時間

電源として使われるバッテリーの使用時間は、充電量や使用状態により多少差があります。



注意 ・バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）を使いきってしまうと、スタンバイ機能が効かなくなり、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、一度全バッテリーを充電するために、ACアダプタを接続して充電してください。

バッテリーでの使用時間は、パソコン本体の使用環境によって異なります。次の時間は目安にしてください。

充電完了の状態で使用した場合

| 省電力モード | 動作時間 |
|--------|--------|
| 標準 | 約1.6時間 |

■98 ■2000ではノーマルモード、■95ではミディアムパワーモード、■NTでは節約モードです。

（注）当社オリジナルプログラムで計測

● 未使用時の保持時間

パソコン本体を使用しないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減少します。この場合も放置環境等に左右されますので、保持時間は、目安にしてください。

フル充電した状態で電源を切った場合

| バッテリー | 状態 | 保持時間 |
|----------|---------|-------|
| バッテリーパック | シャットダウン | 約15日間 |
| | スタンバイ | 約4時間 |
| 時計用バッテリー | — | 約1ヶ月 |

● バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量の減少が進むと、次のように警告します。

Battery LED がオレンジ色に点滅する（バッテリーの減少を示しています）
警告音（ピープ音）が鳴る

この場合はただちに AC アダプタを接続し、電源を供給してください。



お願い

・長時間使用しないで自然に放電しきってしまったときは、警告音でも Battery LED でも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

3 内蔵バッテリー

取りはずし可能なバッテリーパックのほかに、内蔵時計を動かすための時計用バッテリーが内蔵されています。

時計用バッテリーの充電完了までの時間は、次のとおりですが、実際には、充電完了まで待たなくても使用可能です。また、充電状態を知ることはできません。

| 状態 | 時計用バッテリー |
|--|----------|
| 電源 ON (Power  LED が点灯) | 10 時間以上 |
| 電源 OFF (Power  LED が消灯) | 充電しない |



お願い

- ・時計用バッテリーの充電量は、普通に使用している場合はあまり意識する必要はありません。ただし、充電量が減った場合は、時計が遅れたり、止まったりする場合があります。
- ・時計用バッテリーが切れていると、時間の再設定をうながす Warning (警告) メッセージが出ます。

4 バッテリーパックを交換する



警告 ・バッテリーパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、指定の製品をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発煙、火災のおそれがあります。使用済みのバッテリーパックの処理は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

● 取りはずし / 取り付け

1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る

ハイバネーション機能を使用する場合は、[電源の管理] プロパティ ( 省電力ユーザーリティ、 電源オプション] で設定してください (ハイバネーション機能を使用すると、再起動にかかる時間が短くてすみます)。
スタンバイ中にバッテリー交換をすると、データが失われます。

☞ スタンバイ / ハイバネーション機能について

⇒ 「5 章 1 消費電力を節約する」

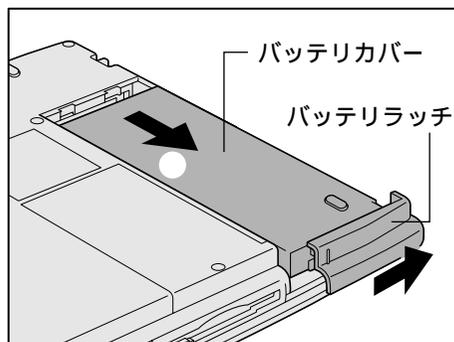


注意 ・バッテリーパックの取り付け / 取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。スタンバイ機能を実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。

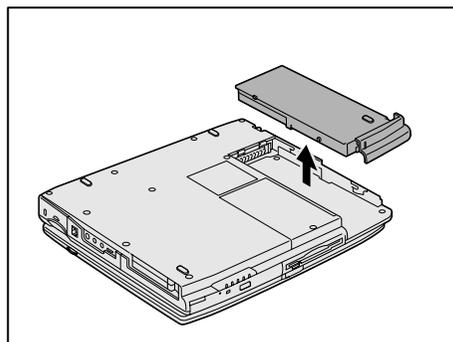
2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類ははずす

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

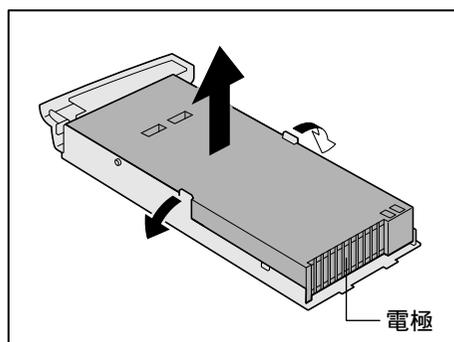
- 4** バッテリラッチを横に押し、バッテリーカバーをスライドさせる



- 5** バッテリーパックごと、バッテリーカバーを取り出す

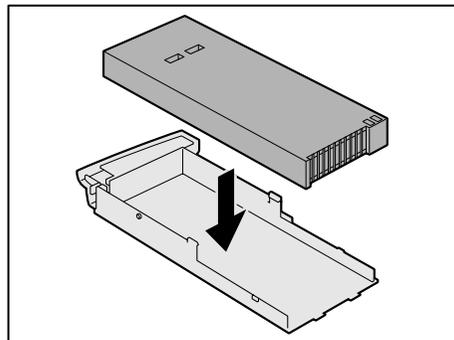


- 6** バッテリーカバーからバッテリーパックを取り出す
バッテリーカバーのツメを左右に広げ、バッテリーパックを取りはずします。



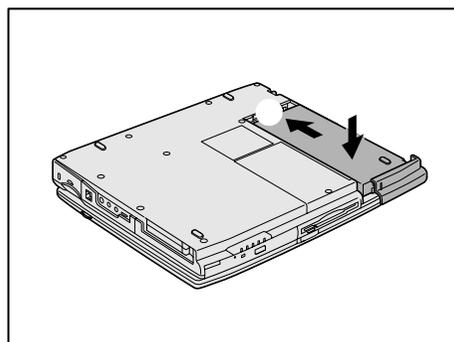
- 注意** ・バッテリーパックを保管する場合は、ショート防止のために電極に絶縁テープをはるなどの対策をこうじてください。そのままの状態では保管すると、破裂や火災のおそれがあります。
・本体側の電極に手でふれないでください。故障の原因になります。

- 7** 交換するバッテリーパックをバッテリーカバーに取り付ける

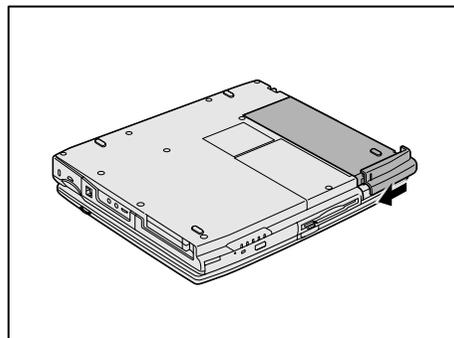


- 8** バッテリーラッチが右側にあることを確認し、バッテリーパックをコネクタの位置に合わせ、静かに差し込む

新しい、あるいは充電したバッテリーパックを注意して差し込んでください。



- 9** バッテリーラッチをスライドさせ、バッテリーパックを固定する



注意 ・バッテリーパックはしっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認してください。正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。

2

バッテリーを節約する

バッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

バッテリーの充電を完了（フル充電）する

バッテリー駆動で使用した後は、バッテリーを充電しておく

スタンバイまたはハイバネーション機能を活用し、こまめに電源を切る

スタンバイやハイバネーション機能とは、電源を切った後、次に電源を入れると、直前の状態を再現することができる機能です。

☞ スタンバイ/ハイバネーション機能について

⇒ 「5章 1 消費電力を節約する」

パネルスイッチ機能を活用し、入力しないときは、ディスプレイを閉じておく

省電力ユーティリティを活用する

☞ 「5章 1 消費電力を節約する」

4

ハードウェアについて

本章では、各ハードウェアについて説明します。
注意事項を守り、正しく取り扱ってください。

| | | |
|-----------|---------------------|-----|
| 1 | 周辺機器の取り付けについて | 100 |
| 2 | マウスの接続 | 101 |
| 3 | フロッピーディスク装置 | 103 |
| 4 | CD-ROM 装置 | 107 |
| 5 | PC カード | 111 |
| 6 | 増設メモリ | 116 |
| 7 | LAN の接続 | 121 |
| 8 | USB 機器の接続 | 130 |
| 9 | プリンタの接続 | 131 |
| 10 | CRT ディスプレイの接続 | 132 |
| 11 | 外付けキーボードの接続 | 133 |

1 周辺機器の取り付けについて

本章で説明していない周辺機器については、それぞれの周辺機器に付属の説明書を参考にしてください。

取り付け/取りはずしの方法は周辺機器によって違います。各項を読んでから作業をしてください。



注意 ・パソコンが動作中に着脱することが認められていない周辺機器を接続する場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。



お願い

- ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
- ・湿度やホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
- ・静電気が発生しやすい環境では作業をしないでください。
- ・作業時に使用するドライバは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
- ・本製品を改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。

● パソコン本体へのケーブルの接続

次の点に注意して、接続してください。

PCカードやコネクタの上下を合わせる

固定用ネジがある場合は、ケーブルがはずれないようにネジを締める



お願い

- ・ケーブルなどを接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

周辺機器を使用するときは、このほかに作業が必要なことがあります。また、その必要な作業は、使用するシステムで異なることがあります。それぞれの周辺機器に付属の説明書をご覧ください。

② マウスの接続

本製品では、次のような市販のマウスを接続して使用することができます。
マウスの種類によって、接続するコネクタが異なります。

- ・PS/2 マウス
- ・シリアルマウス
- ・USB マウス

* Windows NT 4.0 では、USB マウスはサポートしていません。

☞ USB マウスの接続 ☞ 「本章 8 USB 機器の接続」

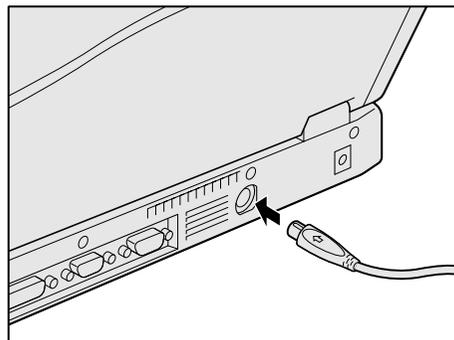
! 注意 ・USB マウス以外のマウスを接続する場合には、必ず電源を切ってから行なってください。電源を入れたまま接続すると、故障のおそれがあります。

① PS/2 マウス

● 取り付け

- 1 PS/2 コネクタに、PS/2 マウスのプラグを差し込む

接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。



● 取りはずし

- 1 パソコン本体に差し込んである PS/2 マウスのプラグを持って抜く

② シリアルマウス

● 取り付け

- 1 COMMS コネクタに、シリアルマウスのプラグを差し込む
接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

● 取りはずし

- 1 パソコン本体に差し込んであるシリアルマウスのプラグを持って抜く

● シリアルマウスの設定方法 ()

シリアルマウスとアキュポイント を同時に使用する場合は、設定が必要です。
次の操作を行なってください。

95

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリック後、[ハードウェア]をダブルクリックする
- 2 [次へ] ボタンをクリックする
- 3 [はい] にチェックがついていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする
- 4 [次へ] ボタンをクリックする
新しいハードウェアの検出が開始されます。
- 5 [完了] ボタンをクリックする
シリアルマウスが認識され、シリアルマウスとアキュポイント を同時に使用することができます。

NT

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。
接続後、パソコン本体の電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。
表示される画面に従ってください。
シリアルマウスとアキュポイント が同時に使えるようになります。
上記の手順で認識されない場合は、次の操作を行なってください。

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [マウス] をダブルクリックする
- 3 [デバイス] タブで [デバイスの変更] ボタンをクリックする
- 4 [デバイス情報] のメニューから COMMS コネクタに接続したデバイスを選択する
- 5 [適用] ボタンをクリックする

3

フロッピーディスク装置

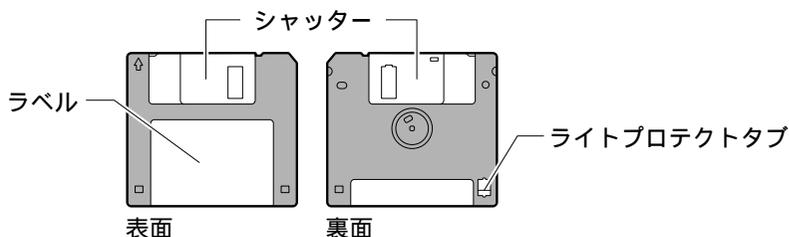
1 フロッピーディスク

使用できるフロッピーディスクの種類と、保存できる容量は次のとおりです。

| フロッピーディスクの種類 | 1枚に保存できる容量 |
|--------------|------------|
| 2DDタイプ | 720KB |
| 2HDタイプ | 1.2MB |
| 2HDタイプ | 1.44MB |

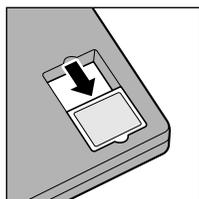
1枚あたりに保存できる容量は、フォーマットのときに指定します。

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



ライトプロテクトタブの状態、次のようになります。

● ライトプロテクトタブの状態

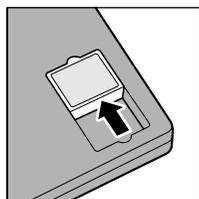


書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。

この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。

データの読み取りはできます。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。

この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。

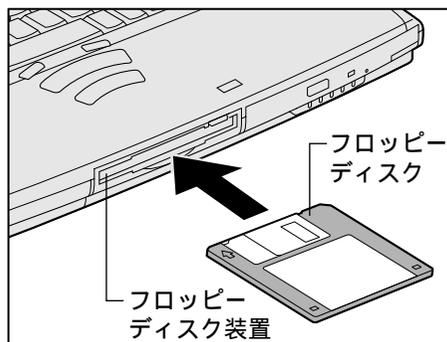
☞ フロッピーディスクの使用について ⇨ 「日常の取り扱い-フロッピーディスク」

② フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスク装置に挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

● フロッピーディスクのセット

- 1 フロッピーディスクの隅にかかっている矢印の向きに合わせて挿入する
「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされるとイジェクトボタンが出てきます。

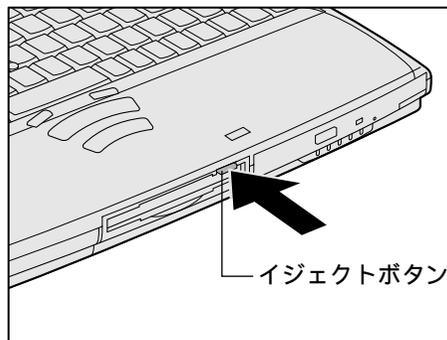


● フロッピーディスクの取り出し



・FDD/CD-ROM  LED が点灯している場合は、フロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れることがあります。

- 1 イジェクトボタンを押す
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



3 フロッピーディスクのフォーマット

買ってきたばかりの新品のフロッピーディスクは、箱から出してそのまますぐ使うことはできません。使用するシステムにあわせて「フォーマット」という作業を行う必要があります。

フォーマットを行うと、フォーマットを行なったシステムにあわせて、データの記憶や読み出しができるようにトラック番号やヘッド番号などの基本情報が書き込まれます。新品のフロッピーディスクは、どんなシステムに使われるかわからないためフォーマットを行わずに出荷されています。新品のフロッピーディスクを使用する場合は、必ずフォーマットを行なってください。

他のシステムで使われていたフロッピーディスクも、もう1度本製品でフォーマットすることにより、本製品で使うことができます。



お願い

- ・フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えます。一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。

● フロッピーディスクのフォーマット方法

Windowsでのフォーマット方法を簡単に説明します。詳しくは、『Windowsのヘルプ』をご覧ください。



メモ

- ・他社のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクの中には使用できないものがあります。
- ・2HDフロッピーディスクを2DDタイプでフォーマットしたり、またその逆でのフロッピーディスクの使用はできません。正しくフォーマットされているフロッピーディスクを使用してください。
- ・  フォーマット形式は、2DDの場合は720KB、2HDの場合は1.44MBのみになります。
- ・  フォーマット形式は、2DDの場合は720KB、2HDの場合は1.2MB、または1.44MBになります。

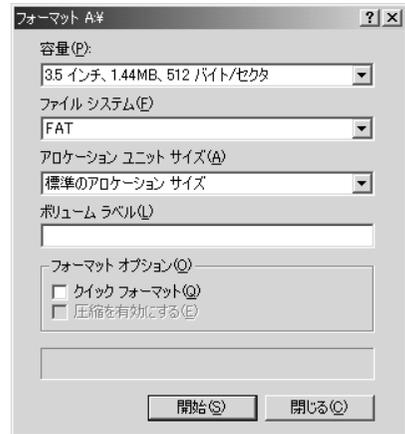
- 1 フォーマットするフロッピーディスクをセットする
- 2 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 3 [3.5 インチ FD (A:)] のアイコンをクリックする
[3.5 インチ FD (A:)] のアイコンが選択され、アイコンの色が反転します。

4 [ファイル(F)]メニューの[フォーマット(M)]([フォーマット(A)])を選択する

フォーマット方法を選択する画面が表示されます。



( )



( )

5 フォーマット方法を選択し、[開始(S)]ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。



メモ

・初めてフォーマットする場合、かなり時間がかかることがあります。

6 [フォーマット結果]の内容を確認し、[閉じる]ボタンをクリックする

  [OK]ボタンをクリックし、[閉じる]ボタンをクリックする
これで、フォーマットは完了です。

他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順5から実施します。

フォーマットを終了する場合は、[閉じる]ボタンをクリックします。

4 CD-ROM 装置

1 CD

使用できる CD は、次の種類です（読み込みのみ可能です）。

音楽用 CD

8cm、12cm の音楽用 CD が聴けます。

☞ 「5 章 1 音楽 CD を聴く」

フォト CD

CD-ROM

使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものが使用できます。

CD エクストラ

CD-R

CD-RW

☞ CD-ROM の使用について ☞ 「日常の取り扱い-コンパクトディスク」



メモ

・CD-R、CD-RW は、メディアの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

2 CD のセットと取り出し



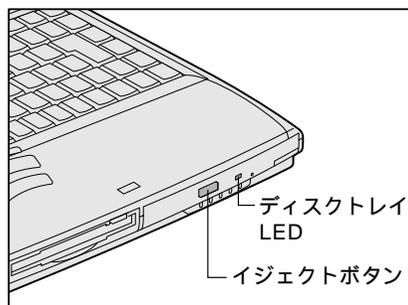
注意

- ・ディスクトレイ内のレンズに触れないでください。CD-ROM 装置の故障の原因になります。
- ・FDD/CD-ROM  /  LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、CD-ROM が動作しています。このときはイジェクトボタンを押さないでください。CD または CD-ROM 装置の故障の原因となります。



お願い

- ・パソコン本体を携帯するときは、CD-ROM 装置に CD が入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。



メモ

- ・CD は、電源が入り、FDD/CD-ROM  /  LED が消灯しているときにセット / 取り出しができます。
- ・次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出ない、またはすぐには出てきません。
 - ・電源を入れた直後
 - ・リセットした直後
 - ・ディスクトレイを閉じた直後これらの場合には、ディスクトレイ LED の点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。
- ・Windows が起動したとき、FDD/CD-ROM  /  LED が周期的に薄く点灯します。これは CD の自動挿入を検出しているためで、故障ではありません。

● CD のセット

CD-ROM 装置へ CD をセットするには、次のように行います。

1 パソコン本体の電源を入れる

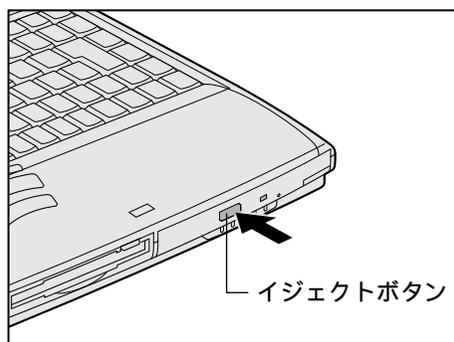


・電源が入っていないと、イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

メモ

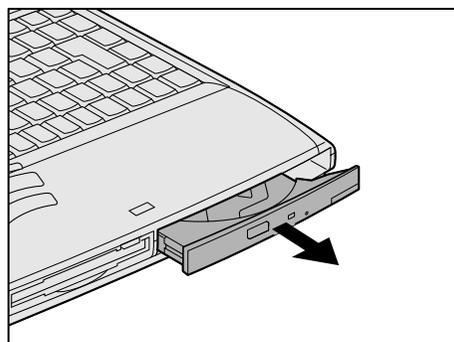
2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。

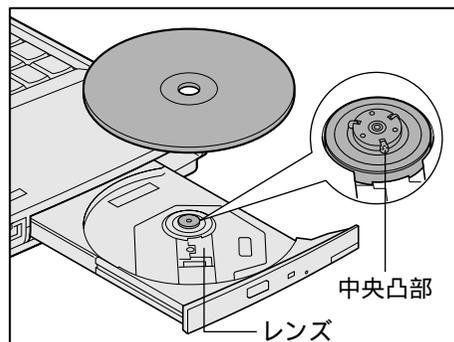


3 ディスクトレイを引き出す

CD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。



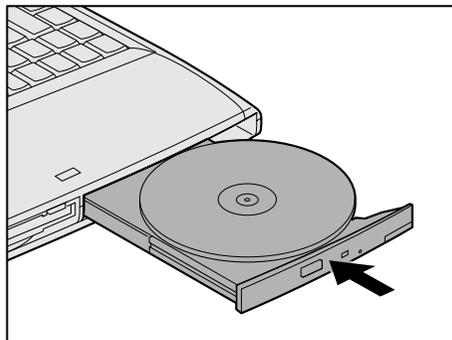
4 文字が書いてある面を上にして、CD の穴の部分をディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする
カチッと音がして、セットされていることを確認してください。



注意

- ・ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。CD-ROM 装置の故障の原因になります。
- ・CD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・CD を正しくディスクトレイにセットしないと、CD を傷つけることがあります。

- 5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



● CD の取り出し

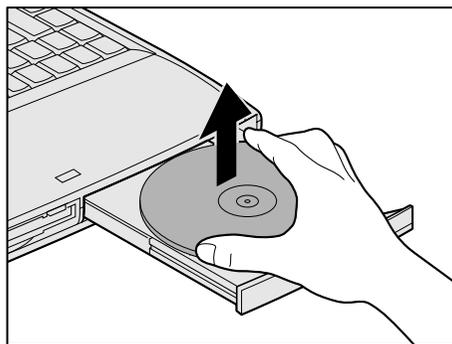
! 注意 ・FDD/CD-ROM  LED が点灯しているときは、CD を取り出さないでください。CD のデータや CD-ROM 装置がこわれるおそれがあります。



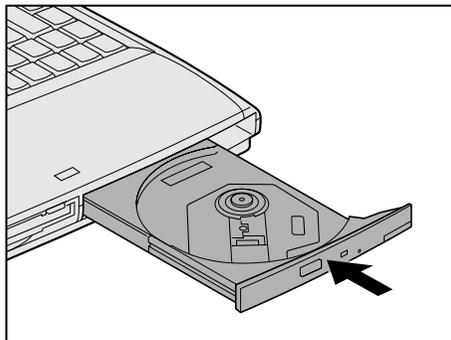
お願い

・パソコン携帯時は、CD-ROM 装置に入っている CD は取り出してください。

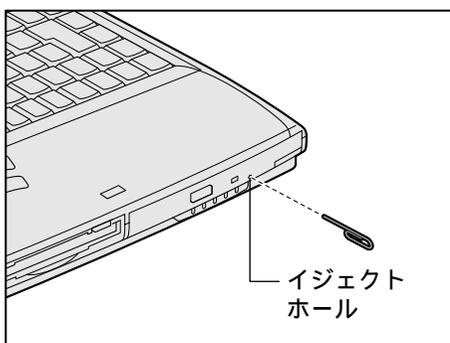
- 1 パソコン本体の電源を入れる
- 2 イジェクトボタンを押す
ディスクトレイが少し出てきます。
- 3 ディスクトレイを引き出す
CD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。
- 4 CD の両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す
ディスクトレイから CD を取り出します。
CD を取り出しにくいときは、中央凸部を少し押しつけてください。簡単に取り出せるようになります。



5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



- ・電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、CD-ROM 装置のイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。



- 注意** ・電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中の CD のデータや CD-ROM 装置がこわれるおそれがあります。

5 PC カード

本製品には、PC カード（別売り）を取り付けることができます。



注意 ・ホットインサクションに対応していないPCカードを使用する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから取り付け/取りはずしを行なってください。電源を入れたまま作業を行うと、PCカードが故障するおそれがあります。



メモ

- ・市販されているPCカードには、自己発熱の大きいものがあります。このようなカードを長時間動作させていると、自己発熱の影響により、カードの動作が不安定になる場合があります。また、他のカードといっしょに使用すると、熱の影響により、他のカードの動作も不安定になる場合があります。
- ・ホットインサクション
パソコン本体の電源を入れたままで、PCカードの取り付け/取りはずしをすることをいいます。ただし、PCカードによってはこの機能に対応していない場合があります。
- ・Windows NTをお使いの場合、「SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT」がインストールされていますので、ホットインサクションやプラグアンドプレイを行うことができます。ただし、PCカードによっては、これらの機能に対応していない場合があります。また、「SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT」をアンインストールした場合や、このユーティリティに対応していないPCカードの場合、ホットインサクションやプラグアンドプレイを行うことはできません。

👉 詳細について → [スタート]-[プログラム]-[CardWizard for Windows NT]-
[最初に必ずお読みください]

使用できるPCカードのタイプは、取り付けのロットによって異なります。

| 使用ロット | 使用可能タイプ |
|-------|----------|
| 1（上側） | TYPE / |
| 0（下側） | TYPE / / |

PCカードの例を次にあげます。

モデムカード
SCSI アダプタ
フラッシュメモリ
CardBus 対応カード



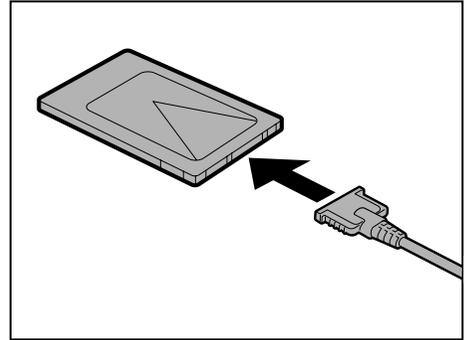
メモ

- ・ロット0にタイプ のPCカードを取り付けた場合は、ロット1にPCカードを取り付けることはできません。

👉 『PCカードに付属の説明書』

● 取り付け

- 1 PCカードにケーブルを付ける
モデムカードなど、ケーブルを接続する必要があるカードの場合は、この作業を行なってください。



お願い

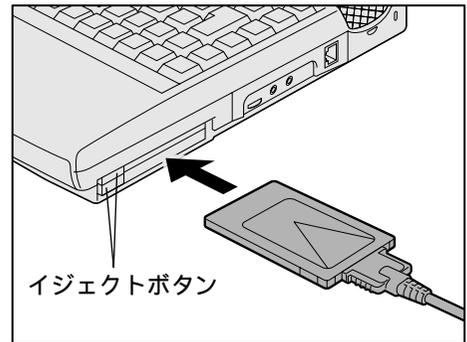
- ・ケーブルを接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

- 2 上下や方向を確認し、PCカードを挿入する

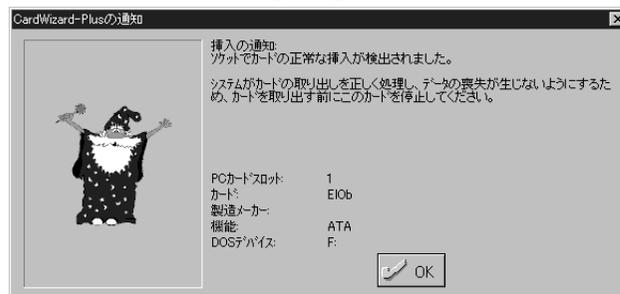
カードを確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。

カードが十分に押し込まれたら、イジェクトボタンが出てきます。

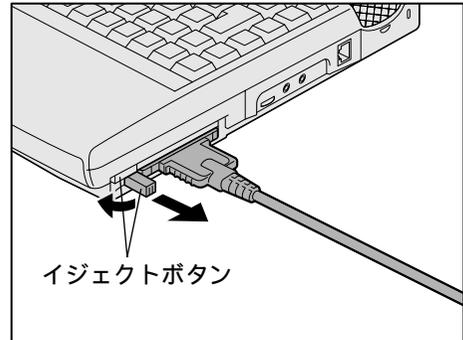
上のイジェクトボタンは、PCカードスロット1用です。下は、PCカードスロット0用です。



NT SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT からカードが挿入されたことを知らせるメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。



- 3** イジェクトボタンを手前に引き出し、
左側に倒す
PCカードが固定されます。



カードを接続した後、カードを使用できる環境かどうかを確認してください。

☞ カードの接続および環境の設定方法 ⇨ 『PCカードに付属の説明書』

● 取りはずし



注意

・PCカードの使用終了は必ず行なってください。使用終了せずにPCカードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。



お願い

・PCカードをアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してから取りはずしを行なってください。

1 PCカードの使用を終了する

98 **95** [コントロールパネル] の [PCカード (PCMCIA)] をダブルクリックし、表示された [PCカード (PCMCIA) のプロパティ] 画面で終了するPCカードを選び、[停止] ボタンをクリックします。

2000 [コントロールパネル] の [ハードウェアの追加と削除] をダブルクリックし、表示された画面に従って操作します。または、タスクバーにある [ハードウェアを取り外すまたは取り出し] アイコンを右クリックして、表示されるメニューの [ハードウェアを取り外すかまたは取り出す] ボタンをクリックします。

NT タスクバーにある [CardWizard] アイコンをダブルクリックし、表示される画面で終了するPCカードスロットを選び、右クリックして表示されるメニューの [停止] ボタンをクリックします。PCカードスロットの表示が変わり、取りはずせることを知らせる音が鳴ります。

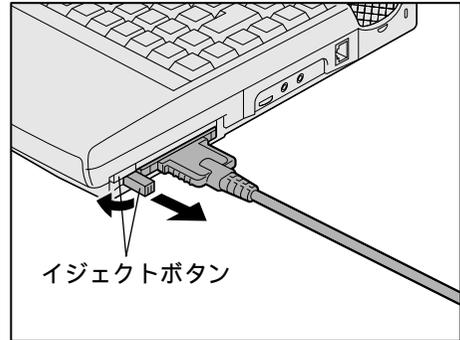


(表示例)

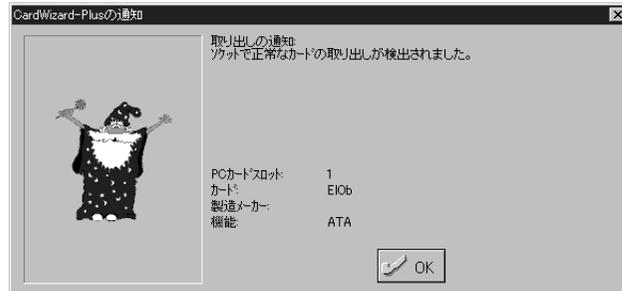


(表示例)

- 2** 取りはずしたいカードのイジェクトボタンを引き起こし、押す
カードが少し出てきます。

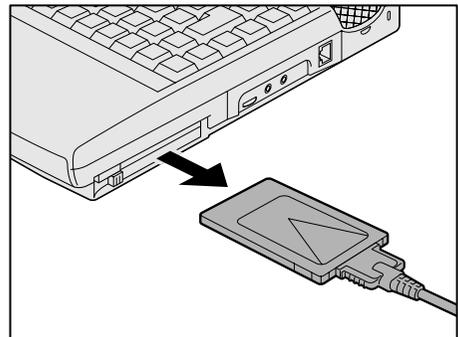


NT 「CardWizard-Plus」より、取り出しの通知メッセージが表示されます。



(表示例)

- 3** カードをしっかりとつかみ、引き抜く



注意 ・PCカードには、長い時間使用していると熱を帯びるものがあります。PCカードを取りはずす際に、PCカードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてからPCカードを取りはずしてください。

増設メモリ

本製品は、増設メモリ（別売り）を取り付けることによって、最大 192MB までメモリを増設することができます。



警告 ・本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一触ると危険です。



注意 ・増設メモリの取り付け / 取りはずしを行う場合は、必ず電源を切り、AC アダプタのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。電源を入れたまま取り付け / 取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。

・電源を切った直後には、増設メモリの取り付け / 取りはずしを行わないでください。増設メモリスロット周辺が熱くなっているため、やけどのおそれがあります。増設メモリの取り付け / 取りはずしは、電源を切った後 30 分以上たってから、行うことをおすすめします。

・増設メモリを強く押ししたり、曲げたり、落としたりしないでください。

・スタンバイ中は、増設メモリの取り付け / 取りはずしを行わないでください。スタンバイ中は電源が入っていますので、増設メモリの取り付け / 取りはずしを行うと、感電、故障のおそれがあります。



お願い

・増設メモリは、精密な電子部品のため静電気によって致命的損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、増設メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。

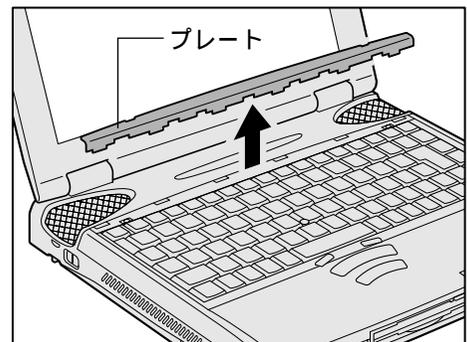
・増設メモリの取り付け / 取りはずしは、スタンバイまたはハイバネーション機能の実行中に行わないでください。スタンバイまたはハイバネーション機能が無効になります。また、本体内の記憶内容が変化し、消失することがあります。

・増設メモリは本製品で動作が保証されているものをご使用ください。それ以外のメモリを増設するとシステムが起動しなくなったり、動作が不安定になります。

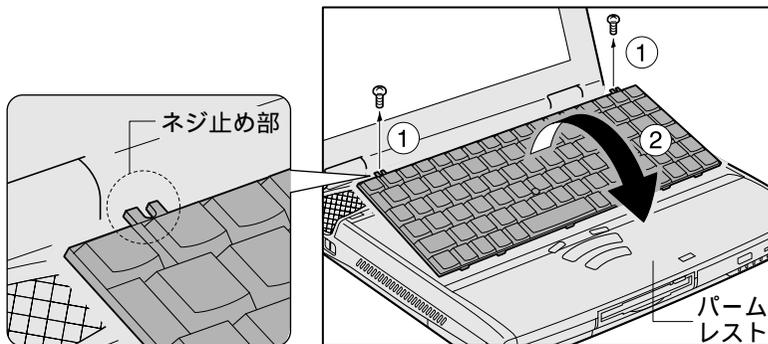
取り付け

- 1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る
- 2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす
- 3 パソコン本体を裏返して、バッテリーパックを取りはずす
 ⇨ バッテリーパックの取りはずし方 ⇨ 「3 章 1-4 バッテリーパックを交換する」

- 4 パソコン本体を表にして、ディスプレイを開け、キーボード上部のプレートをはずす



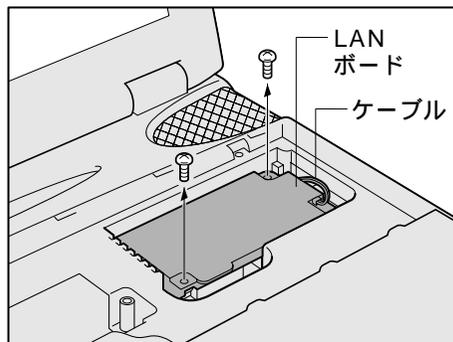
- 5** キーボードの左右のネジ2本をはずし、キーボードを手前に倒す
キーボードを手前に倒すときは、キーの部分を持たないでください。キーの部分を持つとキーがはずれる場合があります。キーボードのネジ止め部を持ち、パームレストの上に静かに倒してください。



お願い

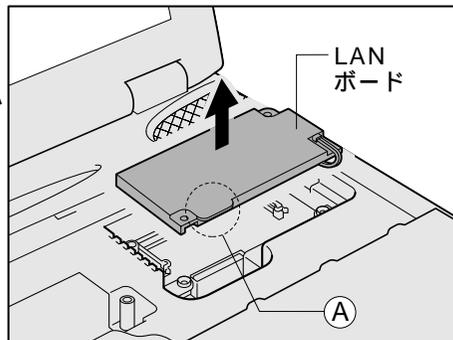
・ネジをはずす際は、ネジの種類に合ったドライバを使用してください。

- 6** LAN ボードのネジ2本をはずす



- 7** LAN ボードの手前を持ち上げて、パソコン本体から取りはずす

図の④部分を持ち上げると、LAN ボードが本体から簡単にはずれます。その後、LAN ボード全体を取りはずして、スピーカの上に置きます。LAN ケーブルが接続されていますので、LAN ボードを引っ張りすぎないようにしてください。

**警告**

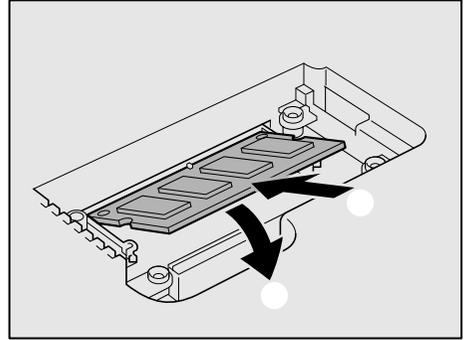
・ステープル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないでください。ショート、発煙のおそれがあります。万一、機器内部に入った場合は、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

**注意**

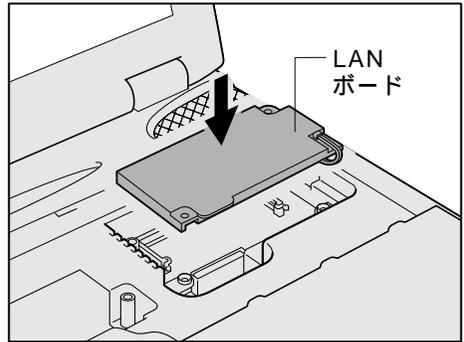
・パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにごみが付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。

8 増設メモリを増設メモリスロットのコネクタに斜めに挿入し、固定するまで増設メモリを倒す

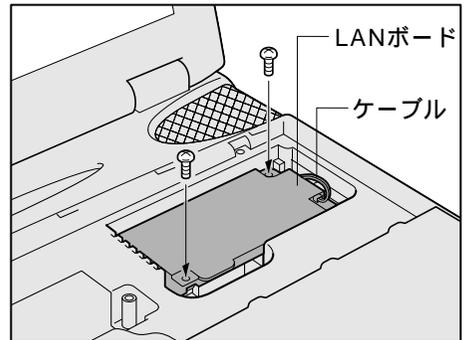
増設メモリの切れ込みを、増設メモリスロットのコネクタのツメに合わせて、しっかり差し込みます。フックがかかりにくいときは、ペン先などで広げてください。



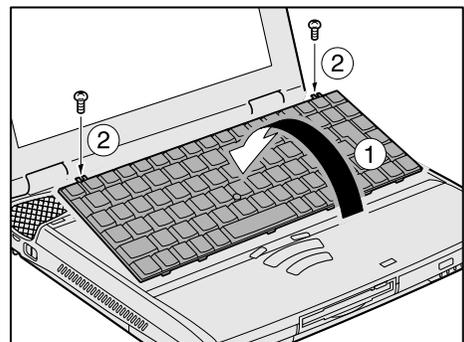
9 LAN ボードをパソコン本体に取り付ける
LAN ボードをパソコン本体に取り付けるときは、LAN ケーブルをはさみ込まないように気をつけてください。



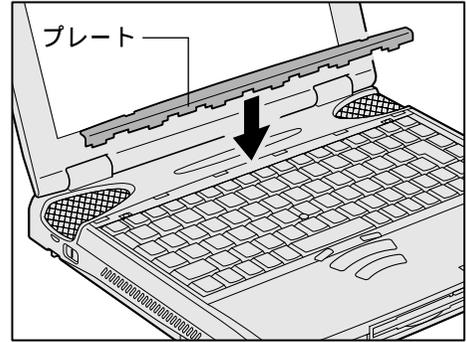
10 LAN ボードを手順 6 ではずしたネジ 2 本でとめる



11 キーボードを元の位置に戻し、左右を手順 5 ではずしたネジ 2 本でとめる
キーボードは手前側のつめ部分を合わせてから取り付けてください。



12 プレートを取り付ける



13 バッテリパックを取り付ける

☞ バッテリパックの取り付け方 ⇨ 「3章 1-4 バッテリパックを交換する」

パソコン本体の電源を入れたとき、合計のメモリ量が自動的に認識されます。合計のメモリ量が正しいかどうかを確認してください。



・合計メモリ量の確認は次の手順で行います。

98 **95** [スタート]-[プログラム]-[東芝ユーティリティ]-[PC診断ツール]をクリックする

2000 **NT** [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックし、[HWセットアップ]をダブルクリックする

取りはずし

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

! 注意 ・増設メモリの取り付け/取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。

2 パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をはずす

3 パソコン本体を裏返して、バッテリーパックを取りはずす

☞ バッテリパックの取りはずし方 ⇨ 「3章 1-4 バッテリパックを交換する」

4 パソコン本体を表にして、ディスプレイを開け、キーボード上部のプレートをははずす

5 キーボードの左右のネジ2本をははずし、キーボードを手前に倒す

キーボードを手前に倒すときは、キーの部分を持たないでください。キーの部分を持つとキーがはずれる場合があります。キーボードのネジ止め部を持ち、パームレストの上に静かに倒してください。



・ネジをははずす際は、ネジの種類に合ったドライバを使用してください。

お願い

6 LAN ボードのネジ 2 本をはずす

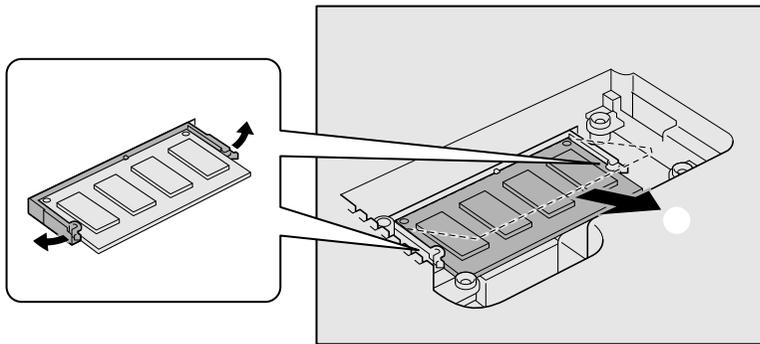
7 LAN ボードの手前を持ち上げて、パソコン本体から取りはずす

! 警告 ・ステープル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないでください。ショート、発煙のおそれがあります。万一、機器内部に入った場合は、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

! 注意 ・パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにごみが付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。

8 増設メモリを固定している左右のフックをペン先などで開き、増設メモリをパソコン本体から取りはずす

斜めに持ち上がった増設メモリを引き抜きます。



9 LAN ボードをパソコン本体に取り付ける

LAN ボードをパソコン本体に取り付けるときは、LAN ケーブルをはさみ込まないように気をつけてください。

10 LAN ボードを手順 6 ではずしたネジ 2 本でとめる

11 キーボードを元の位置に戻し、キーボードの左右を手順 5 ではずしたネジ 2 本でとめる

キーボードは手前側のつめ部分を合わせてから取り付けてください。

12 プレートを取り付ける

13 バッテリパックを取り付ける

☞ バッテリパックの取り付け方 ⇨ 「3 章 1-4 バッテリパックを交換する」

7 LAN の接続

本製品には、Fast Ethernet (100BASE-TX)、Ethernet (10BASE-T)に対応した LAN インタフェースが内蔵されています。本製品の LAN コネクタに LAN ケーブルを接続すると、Fast Ethernet、Ethernet であるかを検出し、自動的に切り替えます。ここでは、LAN ケーブルの接続、LAN インタフェースをご使用になる際の注意事項を説明します。

1 適正なケーブルの確認

LAN インタフェースを 100BASE-TX 規格 (100Mbps) でご使用になるときは、必ずカテゴリ 5 (CAT5) のケーブルおよびコネクタを使用してください。カテゴリ 3 のケーブルは使用できません。

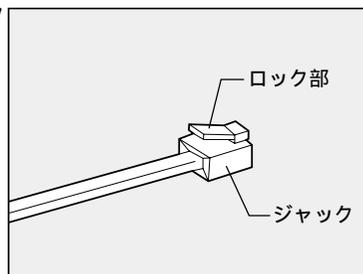
10BASE-T 規格 (10Mbps) でご使用になるときは、カテゴリ 3 または 5 のケーブルが使用できます。

2 LAN ケーブルの接続



お願い

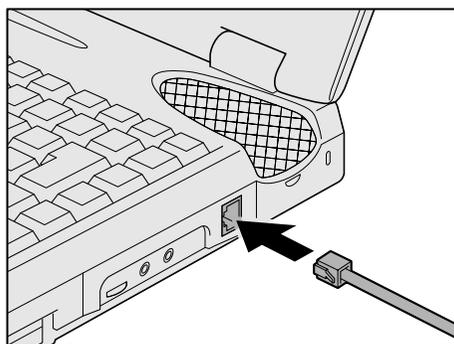
・LAN ケーブルをはずしたり差し込むときは、ジャックの部分を持って行ってください。また、はずすときは、ジャックのロック部を押しながらはずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。



1 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

2 LAN ケーブルのジャックを右側面の LAN コネクタに差し込む

ロック部を手前にして、パチンと音がするまで差し込んでください。



3 LAN ケーブルのもう一方のジャックを接続先のネットワーク機器のコネクタに差し込む

ネットワーク機器の接続先やネットワークの設定は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 Windows 98/95 のネットワーク設定について

ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定内容は、ネットワーク環境によって異なります。接続するネットワークの、ネットワーク管理者の指示に従って設定を行なってください。購入時は既定値 (Default) が設定されています。既定値のままネットワークに接続すると、ネットワークに障害をもたらす場合があります。また、セットアップが終了し、Windows 98 / 95 の起動時に、ネットワークパスワードを入力する必要がある場合があります。後述の「起動時のパスワードの入力」を参照のうえ、パスワードを入力してください。



注意 ・購入時は、ネットワークの設定は既定値になっています。Windows 98 / 95 のセットアップ時に LAN ケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LAN ケーブルをはずした状態で Windows 98 / 95 のセットアップを行なってください。



お願い

・ネットワーク設定は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

● ネットワークの設定

画面の表示例は Windows 98 の画面です。Windows 95 の場合は異なります。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定]- [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ネットワークの設定] タブをクリックし、変更を行う
コンピュータに接続されているネットワークアダプタによって、画面内のアダプタ名は異なります。



(表示例)

ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行なってください。

ネットワーククライアント...ほかのコンピュータに接続する機能です。

プロトコル.....コンピュータが通信するための言語です。通信する複数のコンピュータどうしは、同じプロトコルを使用する必要があります。

アダプタ.....コンピュータを物理的に接続するハードウェアデバイスです。

サービス.....このコンピュータのファイルやプリンタなどのリソースを、ほかのコンピュータから使えるようにします。

4 [識別情報] ([ユーザー情報]) タブをクリックし、コンピュータ名、ワークグループ名をネットワーク管理者の指示に従い、設定する



(表示例)

- !** 注意 ・コンピュータ名とワークグループは必ず既定値 (Default、Default_Wg) の状態から変更してください。既定値のままのコンピュータを複数台ネットワークに接続しますと、コンピュータ名が重複し、次のエラーメッセージが表示されますので、必ず重複しないコンピュータ名を付けてください。



5 [アクセスの制御] ([アクセス権の管理]) タブをクリックし、変更を行う



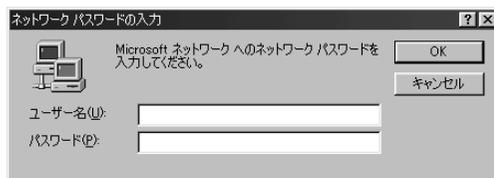
ネットワーク管理者の指示に従い、共有リソースへのアクセス権の管理方法を設定します。

6 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックし、パソコン本体を再起動する

起動時のパスワードの入力

1 パソコンの電源を入れる

2 ネットワーク管理者の指示に従い、ユーザー名と、パスワードを入力する
ここで表示されるダイアログボックスは、ネットワークの設定内容によって異なります (ネットワーククライアントの種類、ドメインサーバにログインするかどうかなど)。ここでは、次のダイアログボックスを例にあげていますが、他のダイアログボックスの場合もネットワーク管理者の指示に従い、入力してください。



・パスワードは、忘れないようにメモすることをおすすめします。

4 Windows 2000 のネットワーク設定について

ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定内容は、ネットワーク環境によって異なります。ネットワーク管理者の指示に従って設定を行なってください。



注意 ・ご購入時は、ネットワークの設定は既定値になっています。Windows のセットアップ時に LAN ケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LAN ケーブルをはずした状態で Windows のセットアップを行なってください。



・ネットワーク設定やコンピュータ識別は、必ずネットワーク管理者の指示に従ってください。

お願い

● ネットワークの設定

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックする
- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] アイコンにマウスのポインタを合わせて右クリックする
- 4 プロパティを選択する
- 5 ネットワーク接続の設定を行う
セットアップ時に設定した構成になっています。
本製品の標準設定の場合、次のようになっています。

アダプタ : Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)
 クライアント : Microsoft ネットワーク用クライアント
 サービス : Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
 プロトコル : TCP/IP (自動取得)

● ネットワーク上でのコンピュータ識別

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックする
- 2 [システム] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ネットワーク ID] タブを選択する
- 4 ネットワーク ID とプロパティの設定を行う
コンピュータ名、ドメイン/ワークグループ名はセットアップ時に設定した構成になっています。
変更する場合はここで再設定してください。

5 Windows NT のネットワーク設定について

ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定内容は、ネットワーク環境によって異なります。ネットワーク管理者の指示に従って設定を行なってください。



注意 ・ご購入時は、ネットワークの設定は既定値になっています。Windows のセットアップ時に LAN ケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LAN ケーブルをはずした状態で Windows のセットアップを行なってください。



お願い

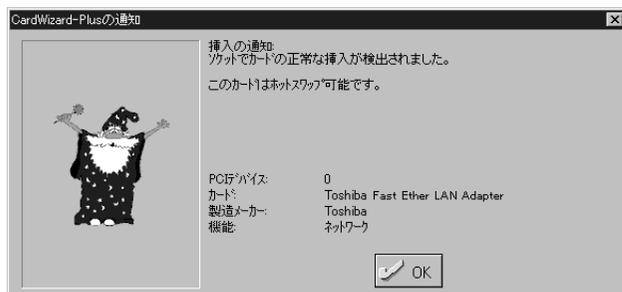
・ネットワーク設定やコンピュータ識別は、必ずネットワーク管理者の指示に従ってください。

ネットワークの設定

1 Administrators グループのユーザアカウントでログオンする

「SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT」が内蔵 LAN インタフェースを認識したことを知らせるメッセージが表示されます。

「カード」、「ソケット」など、メッセージが PC カード向けの内容になっていますが、動作には問題ありません。



2 [OK] ボタンをクリックする

3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックする

4 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする 次の画面が表示されます。



(表示例)

5 識別、サービス、プロトコル、アダプタ、バインドの設定を行う 詳細は Windows NT のヘルプをご覧ください。

ご購入時およびリカバリ CD で標準システムを復元したときは Service Pack6 がインストールされた状態になっています。

なお、ご購入時のネットワークの構成は次のようになっています。

アダプタ : Toshiba Fast Ether LAN Adapter
 プロトコル : NetBEUI
 識別 : WORKGROUP
 コンピュータ名 : 初期セットアップ時に入力した名前

プロトコル等を追加する場合「いくつかの Windows NT ファイルをコピーする必要があります」というダイアログボックスが表示される場合があります。

この場合は、ダイアログボックスのファイル検索場所に「C:¥i386」と表示されていることを確認して、[OK] ボタンを押してください。



注意 ・TCP/IP プロトコルの追加などネットワークの設定を変更した場合には、一部のファイルが古いバージョンに置き換わることがあります。設定完了後、Windows NT Service Pack6 をインストールしてください。
 ☞ 「本項 Service Pack6 のインストールについて」

● 起動時のパスワード入力

- 1 パソコンの電源を入れる
- 2 ネットワーク管理者の指示に従い、ユーザー名と、パスワードを入力する
ここで表示される画面は、ネットワークの設定内容によって異なります（ネットワーククライアントの種類、ドメインサーバにログインするかどうかなど）。ここでは、次の画面を例にあげていますが、他の画面の場合もネットワーク管理者の指示に従い、入力してください。



・パスワードは、忘れないようにメモすることをおすすめします。

メモ

- 3 [OK] ボタンをクリックする

「SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT」が内蔵 LAN インタフェースを認識したことを知らせるメッセージが表示されます。

「カード」、「ソケット」など、メッセージが PC カード向けの内容になっていますが、動作には問題ありません。



- 4 [OK] ボタンをクリックする

● Service Pack6 のインストールについて

LAN などのドライバ / プロトコルを追加 / 変更した場合には、Service Pack6 を再度インストールしなければなりません。

なお、Service Pack6 をインストールすると一部のファイルが置き換えられてしまい、正常に動作しなくなるアプリケーションもあります。

インストールの際は以下の手順に従ってください。



メモ

・詳細については、《オンラインマニュアル》をご覧ください。

- 1** Administrators グループのユーザアカウントでログオンする
- 2** 「東芝パワーマネジメントシステム」をアンインストールする
アンインストールが完了した後は、必ず再起動してください。
- 3** デスクトップにある「Service Pack6 セットアップ」アイコンをダブルクリックする
Service Pack6 のインストールが始まります。画面の指示に従ってインストールを行なってください。
インストールが完了した後は、必ず再起動してください。
- 4** 「東芝パワーマネジメントシステム」を再インストールする
インストールが完了した後は、必ず再起動してください。

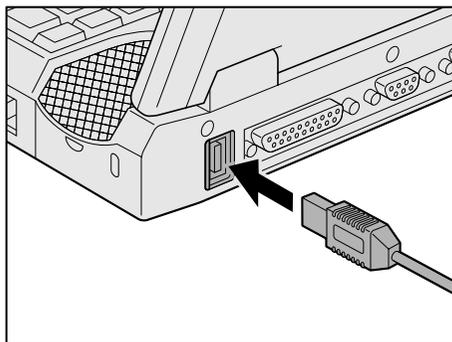
8 USB 機器の接続

本製品には、USB 規格の機器を取り付けることのできる、USB コネクタが用意されています。USB 機器が対応しているシステムを確認のうえ、お使いください。

* Windows NT 4.0 では、USB 機器はサポートしていません。

● 取り付け

- 1 USB ケーブルのプラグをパソコン本体の USB コネクタに差し込む



- 2 USB ケーブルのもう一方のプラグを USB 機器に差し込む
手順 2 が必要ない機器もあります。



お願い

- ・ USB 対応の周辺機器を使用するには、システム、および周辺機器用ドライバの対応が必要です。
- ・ 今後出荷される USB 対応の周辺機器については、動作確認ができていないためすべての周辺機器の動作を保証することはできません。
- ・ USB 機器を接続したままスタンバイ機能を実行すると、復帰後 USB 機器が使用できない場合があります。その場合は、パソコンを再起動してください。

● 取りはずし

- 1 パソコン本体と USB 機器に差し込んである USB ケーブルのプラグを抜く
☞ USB 機器についての詳細 ☞ 『USB 機器に付属の説明書』

PRT コネクタにプリンタを接続して使用することができます。
 プリンタを使用するには、ドライバを組み込む必要があります。
 ドライバのインストールは、[プリンタの追加ウィザード]を使用します。このとき、Windows が標準でドライバを用意していないものについては、プリンタの製造元が提供するインストールディスクが必要です。
 詳しくは、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。
 接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

プリンタポートモードの設定

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリック後、[Toshiba Hardware Setup]([HW セットアップ]) をダブルクリックする
- 2  [Parallel/Printer] タブで [Parallel Port Mode] を使用するプリンタに合ったモードに設定する
 [プリンタ] タブで [プリンタポートモード] を使用するプリンタに合ったモードに設定する

プリンタドライバの設定

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリック後、[プリンタ]をダブルクリックする
 または
 [スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックする
 [プリンタ]画面が表示されます。
- 2 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする
 [プリンタの追加ウィザード] が起動します。
 画面に表示されるメッセージに従って操作してください。
 テストページを印刷する場合は、印刷する前に、プリンタの電源が入っていること、および印刷の準備ができていることを確認してください。

本製品には、CRT ディスプレイを接続することのできる RGB コネクタが用意されています。CRT ディスプレイを接続してパソコン本体の電源を入れると、本体は自動的にその CRT ディスプレイを認識します。また、カラーかモノクロかを判断します。本製品では VGA と SVGA のビデオモードをサポートしています。また、SVGA のビデオモードを使用することを推奨します。

● 取り付け

- 1 CRT ディスプレイに付属のケーブルのプラグを RGB コネクタに差し込むコネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。
- 2 CRT ディスプレイに付属のケーブルのもう一方のプラグを CRT ディスプレイのコネクタに差し込む

● 取りはずし

- 1 RGB コネクタに差し込んである CRT ディスプレイに付属のケーブルのプラグを抜く

● CRT ディスプレイを接続した場合の表示方法

CRT ディスプレイを接続した場合、次の中から表示方法を選ぶことができます。

- ・ CRT ディスプレイだけ表示する
- ・ 内部液晶ディスプレイだけ表示する
- ・ CRT ディスプレイと内部液晶ディスプレイに同時表示する



・ CRT ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、モニタ側で、表示位置や表示幅を設定してください。

表示方法を切り替えるには、次の方法があります。

● 方法 1 - [Fn] + [F5] キーを使う

- 1 [Fn] + [F5] キーを押す
押すたびに次の順で表示装置が切り替わります。

内部液晶ディスプレイだけ

CRT ディスプレイと内部液晶ディスプレイの同時表示

CRT ディスプレイだけ

● 方法 2 - [Toshiba Hardware Setup] で設定する

- 1 「Toshiba Hardware Setup」を起動する
☞ Toshiba Hardware Setup ☞ 「5 章 2 Toshiba Hardware Setup」
- 2 [Display] タブで設定する

PS/2 対応のキーボードを PS/2 コネクタに接続して使用することができます。



注意 ・外付けキーボードを接続するときには、必ず電源を切ってから行ってください。
電源を入れたまま接続すると、故障のおそれがあります。

● 取り付け

- 1 PS/2 コネクタに外付けキーボードのプラグを差し込む
接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

● 取りはずし

- 1 パソコン本体に差し込んである外付けキーボードのプラグを持って抜く

5

便利な機能

お使いになると便利なユーティリティや機能について説明します。

- 1** 消費電力を節約する 136
- 2** Toshiba Hardware Setup
 / HW セットアップ 150

1 消費電力を節約する

本製品には、パソコン本体を省電力で使うための機能が用意されています。これらの機能を使うと、使用目的や環境に合わせて簡単に省電力設定が行えます。

Windows では使用目的や環境に合わせて電源管理に関する設定を行うことができます。例えば、会社で事務に使用する場合はすばやくコンピュータ処理を実行したい、外出先でバッテリーを使用する場合は少しでも長い時間使用したいと思うでしょう。それらの使用環境を記憶し、簡単に変更できれば便利です。このような複数の使用環境を省電力モードとして設定したり、省電力モードの切り替え機能を提供します。

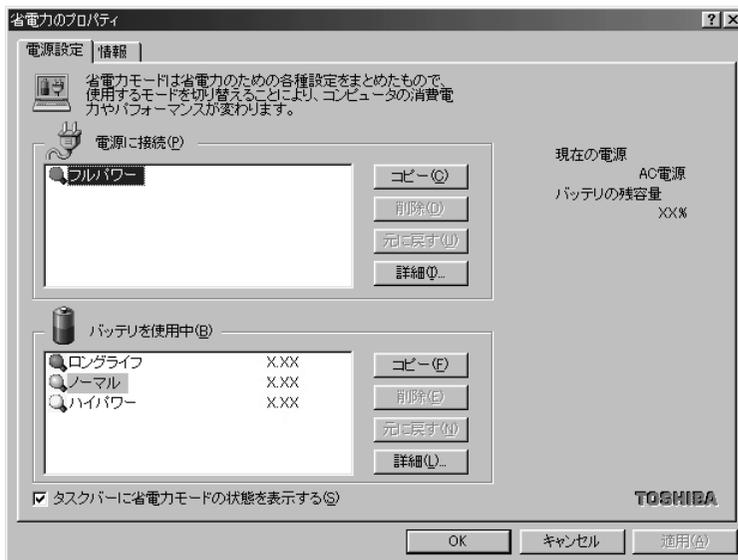
省電力設定を行うことによって、パソコン本体のバッテリー消費電力を抑え、より長い時間お使いいただけます。

「省電力ユーティリティ」をご覧ください。

1 省電力ユーティリティ (Windows 98 の場合)

起動方法

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリック後、[省電力] をダブルクリックする



(表示例)

[電源設定] タブ

使用目的や使用環境 (モバイル、会社、家など) に合わせて、省電力モードを設定したり、複数の省電力モードを作成できます。環境が変化したときに省電力モードを切り替えるだけで、簡単にパソコンの電源設定を変更することができ、快適にご使用いただけます。また、現在の電源やバッテリー残量などの詳細情報も表示します。

[電源に接続][バッテリーを使用中]には、設定可能な省電力モードの一覧が表示されますので、ご使用したい省電力モードに設定します。[電源に接続][バッテリーを使用中]はACアダプタに接続している/していないによって、自動的に切り替わります。

ご購入時にはあらかじめ次の省電力モードが用意されています。

すべての省電力モードを、使用環境や状態に合わせて詳細設定したり、コピー、削除、名前の変更などが行えます。また、新しい省電力モードを作成することもできます。省電力モードの詳細設定は、その省電力モードのプロパティ画面で行います。「本節省電力モードの詳細設定」をご覧ください。

フルパワー

最高性能で動作します。消費電力が一番大きいモードです。ご購入時の初期状態では、[電源に接続](ACアダプタを使用するとき)がこのモードに設定されています。

ハイパワー

性能を優先して省電力制御を行います。

ノーマル

性能と消費電力を両立して省電力制御を行います。ご購入時の初期状態では、[バッテリー使用中](バッテリーを使用するとき)がこのモードに設定されています。

ロングライフ

消費電力を優先して省電力制御を行います。

● 省電力モードの作成

- 1 新しく作成する省電力モードのもとになる省電力モードをクリックする
- 2 [コピーを作成] ボタンをクリックする
[~のコピー]という省電力モードができます。
- 3 その省電力モードの名前を変更する

● 省電力モードの削除

- 1 削除する省電力モードをクリックする
- 2 [削除] ボタンをクリックする



メモ

- ・[元に戻す] ボタンをクリックすると直前に行なった削除をキャンセルすることができますが、[OK] ボタンをクリックした後は元に戻すことはできません。
- ・ご購入時に用意されている4つの省電力モードを削除することはできません。

● タスクバーに省電力モードの状態を表示する

ここをチェックすると現在の省電力モードを示す省電力アイコンがタスクバーに表示されます。ここのチェックをはずすとアイコンは表示されません。

省電力アイコンを表示させておくと、そのアイコンを右クリックすることにより、省電力ユーティリティを開くことができます。

● [情報] タブ

バッテリー残容量の変化やバッテリー残量、パソコンの温度などの情報を表示します。

● 省電力モードの詳細設定

省電力モードに関する詳細設定を行います。

● 起動方法

- 1 [電源設定] タブ - 利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする



(表示例)

● [全般] タブ

省電力モードのアイコンを変更したり、その省電力モードを作成した目的や使用環境などを記述できます。また、ここで設定したプログラムがアクティブになったとき、自動的にこの省電力モードに切り替わるように設定できます。

● [省電力] タブ

省電力に関する設定を自由に編集することができます。ここでは、モニタやハードディスクの電源を切る時間、モニタの輝度、CPUの処理速度などを設定します。また、CPU、PCカードなどに対する省電力設定を行います。

● [動作] タブ

ここでは、電源スイッチを押したときやパソコンのディスプレイパネルを閉じたとき、システムスタンバイのときの動作を設定します。



メモ

- ・「電源ボタンを押したとき」「コンピュータを閉じたとき」には、[電源の管理]-[休止状態] タブで「休止状態をサポートする」がチェックされている場合は、「スタンバイ機能」と「ハイバネーション機能」が選択できます。
「システムアイドルのとき」はスタンバイ機能しか実行されません。
- ・ここに表示している動作設定を他の省電力モードにも設定する場合には、[現在の設定をすべてモードで使用する] ボタンをクリックします。

スタンバイ機能

パソコン本体の電源を切るときに、直前の状態をメモリに保持する機能です。次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。

ハイバネーション機能に比べて、状態の再現がすばやく行われます。

しかし、ハイバネーション機能実行時よりもバッテリーを消耗しますので、AC アダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。



お願い

- ・ 次のような場合はスタンバイ機能が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。
 - ・ バッテリーパックを取りはずしたとき
 - ・ 誤った使い方をしたとき
 - ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - ・ 長時間使っていないため、バッテリーが消耗したとき
 - ・ 故障、修理のとき
 - ・ 電源を切った直後にすぐ電源を入れたとき
 - ・ 増設メモリカードの取り付け / 取りはずしをしたとき

ハイバネーション機能

パソコン本体の電源を切るときに、直前の状態をハードディスクに保存する機能です。次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。この機能はパソコン本体に対しての機能です。周辺機器（プリンタなど）には働きません。



お願い

- ・ ハイバネーション中は、メモリの内容をハードディスクに保存します。Disk LED が点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。データが消失します。
- ・ ドライブ C を、Windows のシステムツールである「ドライブスペース」や市販の圧縮ユーティリティで圧縮すると、ハイバネーション機能が使用できなくなります。ハイバネーション機能を使用する際は、元の状態に復元してください。
- ・ 増設メモリカードの取り付け / 取りはずしをすると、ハイバネーション機能が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

シャットダウン機能

Windows 98 を終了して電源を切ります。

スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める

ここにチェックを入れると Windows のパスワードを入力しないとスタンバイ状態やハイバネーション状態から復活できないようになります。

● [アラーム] タブ

バッテリー残量が少なくなったことをユーザに通知するためのサウンドやメッセージおよび実行する動作やプログラムを設定します。



メモ

- ・ [アラーム] タブは [電源設定] タブの [電源に接続] に登録された省電力モードの場合には表示されません。
- ・ ここで表示しているアラームの設定を他の省電力モードにも設定する場合には、[現在の設定をすべてのモードで使用する] ボタンをクリックします。

② 省電力ユーティリティ (Windows 95 の場合)

ディスプレイやハードディスクの電源を切る時間、ディスプレイの輝度、CPUの処理速度、各ポート電源の制御などを設定します。

● 起動方法

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリック後、[省電力]をダブルクリックする



(表示例)

● 省電力モード

バッテリー使用時、ACアダプタ使用時それぞれ別々に設定可能です。ご購入時には次の省電力モードが用意されています。

フルパワーモード

省電力制御を行いません。システムの初期状態でACアダプタを使用するときには、このモードに設定されています。

ハイパワーモード

性能を優先して省電力制御を行います。

ミディアムパワーモード

性能と消費電力を両立して省電力制御を行います。システムの初期状態でバッテリーを使用するときには、このモードに設定されています。

ローパワーモード

消費電力を優先して省電力制御を行います。

ユーザ設定モード

各パワーモードとは別に省電力設定を自由に設定できます。

基本的な4つのモード以外の省電力設定を行うときは、このモードを使用してください。

省電力モードを選択して[詳細設定]ボタンを押すと、選択した省電力モード設定の確認および変更ができます。

● [詳細設定] ボタン

このボタンを押すと、選択している各省電力モードに対する細かい省電力設定を行う画面を表示します。

各タブでは次のことが設定できます。

[ディスプレイ] タブ

キーボード、アキュポイント およびマウスをある一定時間使用していないとき、画面表示を自動的に消して、消費電力を少なくします。バックライトとディスプレイの両方も消すので、画面表示に使用する電力を最少にすることができ、もっとも省電力の効果があります。

また、画面の輝度（バックライトの明るさ）を下げることによっても省電力の効果があります。

[HDD] タブ

ハードディスクを一定時間使用していないときに、ハードディスクのモータを停止させて、消費電力を少なくします。

ハードディスクがオフの状態、ハードディスクへのアクセスが発生すると、ハードディスクが使用できるようになるまで、しばらく時間がかかります。

また、さらに省電力効果を向上させ、使い勝手を良くするために監視設定機能があります。

[CPU] タブ

CPU 処理速度を切り替えるなどの、CPU の制御処理を行い、消費電力を減らすことができます。

また、CPU が過熱したときには、CPU 処理速度を自動的に低速にして過熱防止を行います。

[システム] タブ

再起動の方法と、システム自動オフ時間を設定できます。

システム自動オフ機能とは、キーボード、アキュポイント、マウス、ハードディスクなどを一定時間使用していないときに、自動的にハイバネーション機能を実行して、システムの電源を切る機能です。



メモ

- ・ CD-ROM の自動挿入機能が有効になっている場合は、システム自動オフ機能が動きません。Windows の「デバイスマネージャ」で CD-ROM の自動挿入機能を無効にしてください。
 - ・ 既定値は次のようになっています。
 - フルパワーモード : ブート
 - それ以外のモード : ハイバネーション
(サスペンド/レジューム)
- ブート、ハイバネーションの切り替えは、タスクバー上の省電力アイコンでも変更できます。

ハイバネーション機能

パソコン本体の電源を切るときに、直前の状態をハードディスクに保存する機能です。次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。この機能は、パソコン本体に対しての機能です。周辺機器（プリンタなど）に対しては働きません。

このハイバネーション機能を使うと、次の利点があります。

- ・ バッテリーを使い切って、パソコンの電源が切れてもデータが保存できる
- ・ システムの状態を再現できる
- ・ こまめに電源を切ることによって節電できる
- ・ システム自動オフ時間を設定できる
- ・ パネルスイッチ機能を使用できる



お願い

- ・ ハイバネーション中は、メモリの内容をハードディスクに保存します。Disk  LED が点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。データが消失します。
- ・ ドライブCを、市販の圧縮ユーティリティで圧縮すると、ハイバネーション機能が使用できなくなります。ハイバネーション機能を使用する際は、元の状態に復元してください。
- ・ ハイバネーション中に増設メモ리카ードの取り付け/取りはずしをすると、ハイバネーション機能が無効になり、ハイバネーション中のデータが消失するおそれがあります。

[その他] タブ

本製品は、次のような通信デバイスに対して、自動省電力機能を提供しています。

PC カードタイプの通信デバイス : モデムカード

ISDN カード

シリアルアダプタカード

通信デバイスの自動省電力機能とは、通信していない間の通信デバイスへの電源供給を自動的に最低限に押さえる機能です。通信ポートを使用していないとき、通信デバイスの電源を切ります。

これらの機能は、ユーザに意識させずに行われます。

自動省電力機能を使用しない場合、デバイスマネージャでポートの使用をしない状態

( 通信ポート) にしても、ポートの電源は切れません。

PC カードの省電力制御の設定は省電力ユーティリティで行うようにし、[コントロールパネル] - [パワーマネージメント] - [PC カードモデム] での設定は行わないでください。



メモ

- ・ 各タブにある [既定値] ボタンを押すと、各項目をご購入時の設定状態に戻します。

● タスクバーへ省電力モードの状態を表示する

ここをチェックすると、現在の省電力モードを示す省電力アイコン  をタスクバーのインジケータ領域中に表示します。ここのチェックを消すと、省電力アイコンを表示しません。

● ヘルプの開き方

省電力ユーティリティの詳細については、省電力ユーティリティのヘルプをご覧ください。

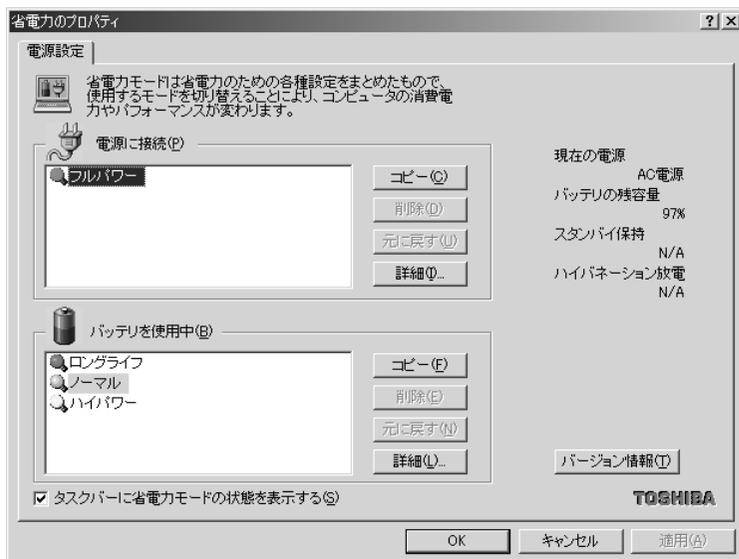
- 1 [スタート]-[プログラム]-[東芝ユーティリティ]-[省電力設定ヘルプ]をクリックする

省電力ユーティリティのヘルプが開きます。

3 省電力ユーティリティ (Windows 2000 の場合)

● 起動方法

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリック後、[省電力] をダブルクリックする



(表示例)

● [電源設定] タブ

使用目的や使用環境 (モバイル、会社、家など) に合わせて、省電力モードを設定したり、複数の省電力モードを作成できます。環境が変化したときに省電力モードを切り替えるだけで、簡単にパソコンの電源設定を変更することができ、快適にご使用いただけます。また、現在の電源やバッテリー残量などの詳細情報も表示します。

[電源に接続][バッテリーを使用中]には、設定可能な省電力モードの一覧が表示されますので、ご使用したい省電力モードに設定します。[電源に接続][バッテリーを使用中]はACアダプタに接続している/していないによって、自動的に切り替わります。

ご購入時にはあらかじめ次の省電力モードが用意されています。

これらの省電力モードは、電源の供給状態によって、設定できるモードがあらかじめ決められています。

また、すべての省電力モードを、使用環境や状態に合わせて詳細設定したり、コピー、名前の変更などが行えます。また、新しい省電力モードを作成することもできます。省電力モードの詳細設定は、その省電力モードのプロパティ画面で行います。「本節省電力モードの詳細設定」をご覧ください。

フルパワー

最高性能で動作します。消費電力が一番大きいモードです。ご購入時の初期状態では、[電源に接続](ACアダプタを使用するとき)がこのモードに設定されています。

ハイパワー

性能を優先して省電力制御を行います。

ノーマル

性能と消費電力を両立して省電力制御を行います。ご購入時の初期状態では、[バッテリー使用中](バッテリーを使用するとき)がこのモードに設定されています。

ロングライフ

消費電力を優先して省電力制御を行います。

● 省電力モードの作成

- 1 新しく作成する省電力モードのもとになる省電力モードをクリックする
- 2 [コピー] ボタンをクリックする
[~のコピー] という省電力モードができます。
- 3 その省電力モードの名前を変更する

● 省電力モードの削除

- 1 削除する省電力モードをクリックする
- 2 [削除] ボタンをクリックする



メモ

- ・[元に戻す] ボタンをクリックすると直前に行った削除をキャンセルすることができますが、[OK] ボタンをクリックした後は元に戻すことはできません。
- ・ご購入時に用意されている省電力モードを削除することはできません。

● タスクバーに省電力モードの状態を表示する

ここをチェックすると現在の省電力モードを示す省電力アイコンがタスクバーに表示されます。ここのチェックをはずすとアイコンは表示されません。

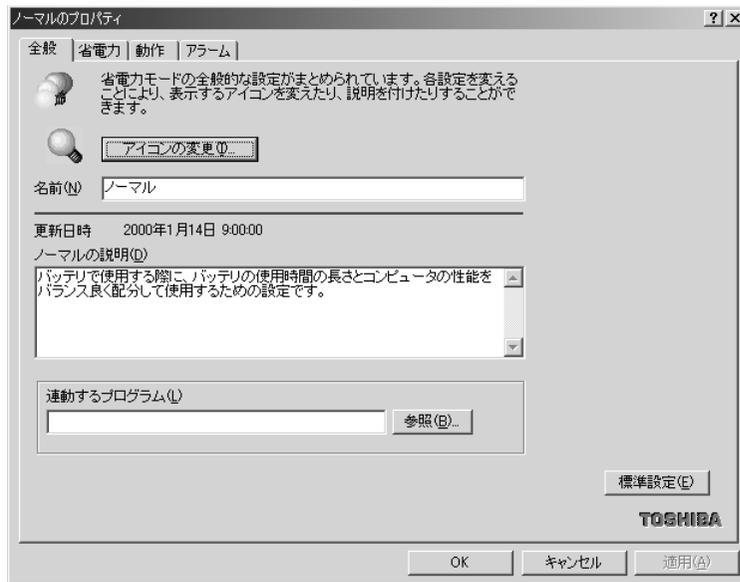
省電力アイコンを表示させておくと、そのアイコンを右クリックすることにより、省電力ユーティリティを開くことができます。

● 省電力モードの詳細設定

省電力モードに関する詳細設定を行います。

● 起動方法

- 1 [電源設定] タブ - 利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする



(表示例)

● [全般] タブ

省電力モードのアイコンを変更したり、その省電力モードを作成した目的や使用環境などを記述できます。また、ここで設定したプログラムがアクティブになったとき、自動的にこの省電力モードに切り替わるように設定できます。

● [省電力] タブ

省電力に関する設定を自由に編集することができます。ここでは、モニタやハードディスクの電源を切る時間、モニタの輝度、CPUの処理速度などを設定します。また、ファンなどに対する省電力設定を行います。

● [動作] タブ

ここでは、電源スイッチを押したときやパソコンのディスプレイパネルを閉じたとき、システムアイドルのときの動作を設定します。



メモ

- ・「電源ボタンを押したとき」「コンピュータを閉じたとき」には、[電源オプション]-[休止状態] タブで「休止状態をサポートする」がチェックされている場合は、「ハイバネーション機能」が選択できます。
- ・ここに表示している動作設定を他の省電力モードにも設定する場合には、[現在の設定をすべてのモードで使用する] ボタンをクリックします。

スタンバイ機能

パソコン本体の電源を切るときに、直前の状態をメモリに保存する機能です。次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。

ハイバネーション機能に比べて、状態の再現がすばやく行われます。

しかし、ハイバネーション機能実行時よりもバッテリーを消耗しますので、ACアダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。



お願い

- ・ 次のような場合はスタンバイ機能が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。
 - ・ 誤った使い方をしたとき
 - ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - ・ 長時間使っていなかったために、バッテリーが消耗したとき
 - ・ 故障、修理、電池交換のとき
 - ・ 電源を切った直後にすぐ電源を入れたとき
 - ・ バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
 - ・ 増設メモリの取り付け/取りはずしをしたとき

ハイバネーション機能

パソコン本体の電源を切るときに、直前の状態をハードディスクに保存する機能です。次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。この機能はパソコン本体に対しての機能です。周辺機器（プリンタなど）には働きません。



お願い

- ・ ハイバネーション中は、メモリの内容をハードディスクに保存します。Disk LED が点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。データが消失します。

シャットダウン機能

Windows 2000 を終了して電源を切ります。

スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求めるここにチェックを入れるとWindowsのパスワードを入力しないとスタンバイ状態やハイバネーション状態から復活できないようになります。

● [アラーム] タブ

バッテリー残量が少なくなったことをユーザに通知するためのサウンドやメッセージおよび実行する動作やプログラムを設定します。



メモ

- ・ [アラーム] タブは [電源設定] タブの [電源に接続] に登録された省電力モードの場合には表示されません。

4 省電力ユーティリティ (Windows NT の場合)

ディスプレイやハードディスクの電源を切る時間、ディスプレイの輝度、CPU の処理速度、各ポート電源の制御などを設定します。

起動方法

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] をクリック後、[省電力] をダブルクリックする



(表示例)

省電力モード

バッテリー使用時、AC アダプタ使用時それぞれ別々に設定可能です。ご購入時には次の省電力モードが用意されています。

フルパワーモード

省電力制御を行いません。システムの初期状態で AC アダプタを使用するときには、このモードに設定されています。

ハイパワーモード

性能を優先して省電力制御を行います。

ミディアムパワーモード

性能と消費電力を両立して省電力制御を行います。システムの初期状態でバッテリーを使用するときには、このモードに設定されています。

ローパワーモード

消費電力を優先して省電力制御を行います。

ユーザ設定モード

各パワーモードとは別に省電力設定を自由に設定できます。

基本的な 4 つのモード以外の省電力設定を行うときは、このモードを使用してください。

省電力モードを選択して [詳細設定] ボタンを押すと、選択した省電力モード設定の確認および変更ができます。

● [詳細設定] ボタン

このボタンを押すと、選択している各省電力モードに対する細かい省電力設定を行う画面を表示します。

各タブでは次のことが設定できます。

[ディスプレイ] タブ

キーボード、アキュポイント およびマウスをある一定時間使用していないとき、画面表示を自動的に消して、消費電力を少なくします。バックライトとディスプレイの両方も消すので、画面表示に使用する電力を最少にすることができ、もっとも省電力の効果があります。

また、画面の輝度（バックライトの明るさ）を下げることによっても省電力の効果があります。

[HDD] タブ

ハードディスクを一定時間使用していないときに、ハードディスクのモータを停止させて、消費電力を少なくします。

ハードディスクがオフの状態、ハードディスクへのアクセスが発生すると、ハードディスクが使用できるようになるまで、しばらく時間がかかります。

また、さらに省電力効果を向上させ、使い勝手を良くするために監視設定機能があります。

[CPU] タブ

CPU 処理速度を切り替えるなどの、CPU の制御処理を行い、消費電力を減らすことができます。

また、CPU が過熱したときには、CPU 処理速度を自動的に低速にして過熱防止を行います。

[その他] タブ

サウンドやアラームの制御を行います。



メモ

・各タブにある [既定値] ボタンを押すと、各項目をご購入時の設定状態に戻します。

● タスクバーへ省電力モードの状態を表示する

ここをチェックすると、現在の省電力モードを示す省電力アイコン  をタスクバーのインジケータ領域中に表示します。このチェックを消すと、省電力アイコンを表示しません。

2 Toshiba Hardware Setup / HW セットアップ

Toshiba Hardware Setup および HW セットアップは、ハードウェアの各種機能を設定するユーティリティです。

1 Toshiba Hardware Setup (Windows 98 / 95)

● 起動方法

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] をクリックする
- 2 [Toshiba Hardware Setup] をダブルクリックする



・標準設定ボタンを押すと、Toshiba Hardware Setup の設定がすべて標準設定の状態になります。

詳しくは、Toshiba Hardware Setup のヘルプをご覧ください。

● ヘルプの起動方法

- 1 [Toshiba Hardware Setup] を起動し、画面右上の **?** をクリックする
マウスポインタが  に変わります。
- 2 画面上の知りたい場所をクリックする
説明文がポップアップで表示されます。

② HW セットアップ (Windows 2000 の場合)

● 起動方法

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [HW セットアップ] を選択する

[全般] タブ

現在のパソコンの設定や、メモリ、ハードウェアに関する情報を表示します。

[サウンド] タブ

システムビープやアラームの設定、スピーカ音量の設定をします。

[プリンタ] タブ

プリンタポートモードを設定します。

[OS の起動] タブ

システムを起動する装置の優先順位の設定をします。

[パスワード] タブ

ユーザパスワードの登録 / 解除を行います。

[PC カード] タブ

PC カードを正常に動作させるためのモードを設定します。

[ポインティング装置] タブ

アキュポイント やマウスの操作モードを設定します。



メモ

- ・ [標準設定] ボタンを押すと、すべての項目をご購入時の設定状態に戻します。
- ・ 「スーパーバイザパスワード設定ツール」でユーザパスワードモードを「HW セットアップの起動禁止」に設定している場合は、「HW セットアップ」で設定を変更することはできません。



スーパーバイザパスワード設定ツール

⇒ アプリケーション CD の Common¥Softwares¥SVPWTool にある「readme.htm」

詳しくは、HW セットアップのヘルプをご覧ください。

● ヘルプの起動方法

- 1 [HW セットアップ] を起動し、画面右上の **?** をクリックする
マウスポインタが **?** に変わります。
- 2 画面上の知りたい場所をクリックする
説明文がポップアップで表示されます。

3 HW セットアップ (Windows NT の場合)

起動手方法

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [HW セットアップ] を選択する

[全般] タブ

現在のパソコンの設定や、メモリ、ハードウェアに関する情報を表示します。

[プリンタ] タブ

プリンタポートモードを設定します。

[シリアル] タブ

シリアルポートの入出力に使用される I/O アドレスや IRQ を設定します。

[OS の起動] タブ

システムを起動する装置の優先順位の設定をします。

[パスワード] タブ

ユーザパスワードの登録 / 解除を行います。

[PC カード] タブ

PC カードを正常に動作させるためのモードを設定します。

[ポインティング装置] タブ

アキュポイント やマウスの操作モードを設定します。



メモ

- ・[標準設定] ボタンを押すと、すべての項目をご購入時の設定状態に戻します。
- ・「スーパーバイザパスワード設定ツール」でユーザパスワードモードを「HW セットアップの起動禁止」に設定している場合は、「HW セットアップ」で設定を変更することはできません。

☞ スーパーバイザパスワード設定ツール

⇒ アプリケーション CD の Common¥Softwares¥SVPWTool にある「readme.htm」

詳しくは、HW セットアップのヘルプをご覧ください。

ヘルプの起動手方法

- 1 [HW セットアップ] を起動し、画面右上の **?** をクリックする
マウスポインタが **?** に変わります。
- 2 画面上の知りたい場所をクリックする
説明文がポップアップで表示されます。

6

システム構成と パスワードセキュリティ

本章では、パソコン本体のシステム構成の設定や、パスワードの登録/削除などについて説明します。

| | | |
|----------|-------------------|-----|
| 1 | システム構成の設定 | 154 |
| 2 | パスワードセキュリティ | 167 |



1

システム構成の設定

パソコン本体のシステム構成の設定は、セットアッププログラムで設定します。セットアッププログラムではなく、Windows 上のシステムからも変更することができます。

98 95

デバイスマネージャ、Toshiba Hardware Setup、省電力ユーティリティで行うことをおすすめします。

2000

デバイスマネージャ、HW セットアップ、省電力ユーティリティで行うことをおすすめします。

NT

HW セットアップ、省電力ユーティリティで行うことをおすすめします。

セットアッププログラムと Windows 上の設定が異なる場合、Windows 上の設定が優先されます。



メモ

- ・ご使用のシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- ・「セットアップ」メニューで設定した内容は、内蔵バッテリーで保持するため、電源を切っても消えません。ただし、内蔵バッテリーが消耗した場合は標準設定値に戻ります。

1 セットアッププログラムを起動する方法



メモ

- ・スーパーバイザパスワードでユーザパスワードモードを「Unable to run Setup」(2000 NT HW セットアップの起動禁止) に設定している状態で、パソコンの電源を入れたときにユーザパスワードを入力した場合には、セットアッププログラムは起動しません。



ユーザパスワードモードについて

⇒ 「本章 2-2- ユーザパスワードからの起動による制限事項の設定と解除」

MS-DOS 上から起動する

Windows 98 / 95 のみ使用できます。

Windows 2000 / NT の場合、MS-DOS 上からは起動できません。

- 1 [スタート] - [Windows の終了 (U)] - [MS-DOS モードで再起動する (M)] (95 [MS-DOS モードでコンピュータを再起動する (M)]) を選択する

[スタート] - [プログラム] - [MS-DOS プロンプト] からは起動できません。

- 2 **C** **D** **S** **p** **a** **c** **e** **¥** **T** **O** **S** **S** **E** **T** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

- 3 **U** **S** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
英語モードに切り替わります。

- 4 **T** **S** **E** **T** **U** **P** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
セットアッププログラムが起動します。

● **Esc** キーで起動する

- 1 **Esc** キーを押しながら電源を入れる
「Check system. Then press [F1] key.」と表示されます。
- 2 **F1** キーを押す
セットアッププログラムが起動します。

② セットアッププログラムを終了する方法

変更した内容を反映させて終了します。

- 1 **End** キーを押す
画面にメッセージが表示されます。
- 2 **Y** キーを押す
設定内容が反映され、セットアッププログラムが終了します。
変更した項目によっては、再起動されます。

● セットアッププログラムを途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合には行います。
この場合は変更した内容はまったく反映されません。設定値は変更前の状態のままです。

- 1 **Esc** キーを押す
画面にメッセージが表示されます。
- 2 **Y** キーを押す
セットアッププログラムが終了します。

3 セットアッププログラムの画面

セットアッププログラムには、次の2つの画面があります。

(注)画面は標準設定値の表示例です。

| SYSTEM SETUP(1/2) | | ACPI BIOS version = * ** |
|---|---|--------------------------|
| MEMORY Total = 65536KB | BOOT PRIORITY Boot Priority = FDD→HDD→CD-ROM→LAN Power On Boot Select = Enabled | |
| PASSWORD Not Registered | DISPLAY Power On Display = Auto-Selected LCD Display Stretch = Disabled | |
| BATTERY Battery Save Mode = Full Power | OTHERS CPU Cache = Enabled Level 2 Cache = Enabled Auto Power On = Disabled Alarm Volume = High System Beep = Enabled | |
| PERIPHERAL Pointing Devices = Auto-Selected Ext Keyboard "Fn" = Disabled USB Legacy Emulation = Disabled Parallel Port Mode = ECP Hard Disk Mode = Enhanced IDE(Normal) | | |

: Select items **Space, BkSp**: Change values **PgDn, PgUp**: Change pages
Esc: Exit without saving **Home**: Set default values **End**: Save changes and Exit

| SYSTEM SETUP(2/2) | | ACPI BIOS version = * ** |
|--|--|--------------------------|
| CONFIGURATION Device Config. = All Devices | PC CARD Controller Mode = Auto-Selected | |
| I/O PORTS Serial = COM1(3F8H/IRQ4) Parallel = LPT1(378H/IRQ7/CH3) | DRIVES I/O HDD= Primary IDE(1F0H/IRQ14) CD-ROM= Secondary IDE(170H/IRQ15) | |
| PCI BUS PCI BUS = IRQ11 | FLOPPY DISK I/O Floppy Disk = (3F2H/IRQ6/CH2) | |

: Select items **Space, BkSp**: Change values **PgDn, PgUp**: Change pages
Esc: Exit without saving **Home**: Set default values **End**: Save changes and Exit

⇒ 設定項目の詳細について ⇨ 「本節 4 設定項目」

● 基本操作

基本操作は次のとおりです。

● 変更したい項目の選択方法

セットアッププログラム画面中、反転している部分が現在変更できる項目です。
変更する項目に移動するには、、、、キーを使います。

● 項目の内容の変更方法

Space または BackSpace キーを押す
項目の内容が変わります。

● 画面を切り替える方法

PgDn または PgUp キーを押す
次の画面または前の画面に切り替わります。

● 設定内容を標準値にする方法

Home キーを押す
次にあげる項目以外は、設定内容が標準設定になります。

- ・ PASSWORD
- ・ Hard Disk Mode
- ・ Write Policy

4 設定項目

カーソルが移動しない項目は、参照のみで変更できません。
本項では、標準設定値を「標準値」と記述します。

MEMORY

メモリ容量を表示する

▼ Total

本体に取り付けられているメモリの総容量が表示されます。

PASSWORD

ユーザパスワードの登録 / 削除をする

☞ ユーザパスワードの登録 / 削除の方法 ☞ 「本章 3-1 ユーザパスワード」

▼ Not Registered

ユーザパスワードが設定されていないときに表示されます (標準値)。

▼ Registered

ユーザパスワードが設定されているときに表示されます。

BATTERY

バッテリーで長く使用するための設定をする



・Windows 98 / 95 を使用している場合は省電力ユーティリティの設定が有効になり、「BATTERY」の設定は無効になります。

▼ Battery Save Mode

バッテリーセーブモードを設定します。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウが開きます。

「User Setting」を選択した場合のみ、設定の変更ができます。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの設定項目は次のように表示されます。

| Full Power (標準値) | Low Power | User Settings (設定例) |
|---|--|------------------------------|
| Processing Speed = High | Processing Speed = Low | Processing Speed = Low |
| CPU Sleep Mode = Enabled | CPU Sleep Mode = Enabled | CPU Sleep Mode = Enabled |
| Display Auto Off = 30Min. | Display Auto Off = 03Min. | Display Auto Off = 03Min. |
| HDD Auto Off = 30Min. | HDD Auto Off = 03Min. | HDD Auto Off = 03Min. |
| LCD Brightness = Bright *1 Super Bright *2 | LCD Brightness = Semi-Bright *1 Bright *2 | LCD Brightness = Semi-Bright |
| Cooling Method = Performance | Cooling Method = Quiet | Cooling Method = Quiet |

(注) LCD Brightness (LCD 輝度) の表示は次の状態で変わります。

* 1 バッテリー駆動時

* 2 ACアダプタ使用時

次に「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

● Processing Speed

処理速度を設定します。

使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ High 処理速度を高速に設定する
- ・ Low 処理速度を低速に設定する

● CPU Sleep Mode

CPUが処理待ち状態のとき、電力消費を低減します。

- ・ Enabled 電力消費を低減する
- ・ Disabled 電力消費を低減しない



お願い

- ・一部のアプリケーションソフトでは「Enabled」に設定すると処理速度が遅くなることがあります。その場合は「Disabled」に設定してください。

● Display Auto Off (表示自動停止時間)

時間を設定すると、設定した時間以上キーを押さない場合（マウスやアキュポイントの操作も含む）にディスプレイを消灯して節電します。画面に表示されている内容が見えなくなりますが、これは故障ではありません。

画面に表示するには、**[Shift]** キーを押すか、マウスを移動させてください。

- ・ Disabled 自動停止機能を使用しない

自動停止時間の設定は「01Min.」「03Min.」「05Min.」「10Min.」「15Min.」「20Min.」「30Min.」から選択します。

● HDD Auto Off (HDD 自動停止時間)

設定した時間以上ハードディスクの読み書きをしない場合に、ハードディスクの回転を止めて節電します。

自動停止時間の設定は「01Min.」「03Min.」「05Min.」「10Min.」「15Min.」「20Min.」「30Min.」から選択します。



メモ

- ・ハードディスク装置を保護するため、Disabledは設定できません。

● LCD Brightness (LCD 輝度)

画面の明るさを選択します。

- ・ Semi-Bright 低輝度に設定する
- ・ Bright 高輝度に設定する
- ・ Super-Bright 最高輝度に設定する



メモ

- ・DSTNモデルの場合、「Super-Bright」はありません。

● Cooling Method (CPU 熱制御方式)

CPU の熱を冷ます方式を選択します。

- ・ Performance CPU が高温になったときに、本体内にあるファンが作動し CPU に風を送り、冷やします。
- ・ Quiet CPU が高温になったときに、CPU の処理速度を「Low」にして温度を下げます。「Low」にしても、温度が上がる場合はファンを作動させます。



メモ

- ・ CPU が高熱を帯びると故障の原因になります。高熱状態が続く場合は、自動的にレジューム機能を効かせた状態で電源を切り、パソコンを故障から守ります。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウを閉じるには、キーを押して選択項目を「Cooling Method」の外に移動します。

PERIPHERAL

HDD や外部装置の設定をする

▼ Pointing Devices (ポインティング装置)

アキュポイント を使用するか、外部 PS/2 マウスを使用するかを設定します。

- ・ Auto-Selected (標準値) アキュポイント が PS/2 マウスかどちらか1つを使用する
PS/2 マウスを接続している場合は、PS/2 マウスだけが使用できます。PS/2 マウスを接続していない場合は、アキュポイント が使用できます。
- ・ Simultaneous アキュポイント と PS/2 マウスを同時に使用する

▼ Ext Keyboard "Fn"

外付けの PS/2 キーボードの Fn キーの割り当てをします。

- ・ Disabled (標準値) Fn キーの代替えキー割り当てをしない
 - ・ Left Ctrl+Left Alt
 - ・ Right Ctrl+Right Alt
 - ・ Left Alt+Left Shift
 - ・ Right Alt+Right shift
 - ・ Left Alt+CapsLock
- これらのキーを Fn キーの代替えキーとして割り当てる

▼ USB Legacy Emulation

USB キーボード / マウスのエミュレーションを設定します。

- ・ Disabled (標準値) USB キーボード / マウスのレガシーサポートを行わない
- ・ Enabled レガシーサポートを行う
ドライバなしで USB キーボード / マウスが使用可能になります。



メモ

- ・ この USB Legacy Emulation は、USB マウス、USB キーボードだけに適用されます。USB マウスと USB キーボードを使用する場合は、コンピュータを起動する前にマウス、キーボードを接続しておく必要があります。

▼ Parallel Port Mode

パラレルポートモードの設定をします。

- ・ ECP (標準値)..... ECP 対応に設定する
大半のプリンタでは、ECP に設定します。
- ・ Std.Bi-Direct. 双方向に設定する
一部のプリンタおよび、プリンタ以外のパラレル装置を使用する場合に設定する

▼ Hard Disk Mode

ハードディスクのモードを設定します。

項目を変更する場合は、パーティションの再設定を行なってください。

- ・ Enhanced IDE(Normal)(標準値)
..... 通常はこちらを選択する
- ・ Standard IDE Enhanced IDE に対応していない OS を使用する場合に選択する
この場合、528MB までが使用可能となり、残りの容量は使用できません。

BOOT PRIORITY

ブート優先順位を設定する

▼ Boot Priority

システムを起動するディスク装置の順番を設定します。

- | | | | | |
|----------|--------|--------|-----------|---------------|
| ・ FDD | HDD | CD-ROM | LAN (標準値) | } 指定の装置順に起動する |
| ・ HDD | FDD | CD-ROM | LAN | |
| ・ FDD | CD-ROM | LAN | HDD | |
| ・ HDD | CD-ROM | LAN | FDD | |
| ・ CD-ROM | LAN | FDD | HDD | |
| ・ CD-ROM | LAN | HDD | FDD | |

通常は「FDD HDD CD-ROM LAN」に設定してください。



メモ

- ・ 電源を入れたときや再起動時に、次に示すキーを押し続けると、設定内容と違う装置から起動することができます。
 - F** キー... フロッピーディスク装置から起動します。
 - B** キー... パソコン本体のハードディスク装置から起動します。
 - C** キー... CD-ROM 装置から起動します。
 - N** キー... 内蔵 LAN から起動します。
 - D** キー... 通常の設定された起動装置から起動します。
- なお、これらのキーによって設定は変更されません。

6 章

システム構成と
パスワードセキュリティ

▼ Power On Boot Select

電源を入れたときに起動する装置を選択する機能を使用するかどうかの設定をします。

- ・ Enabled 使用可能にする
- ・ Disabled 禁止する

「Enabled」に設定した場合は電源を入れると「Press [F2] for the boot device selection menu」というメッセージが表示されます。[F2] キーを押して表示されるメニューから起動する装置を選択します。選択するキーは次のようになっています。

- [F] キー・・・フロッピーディスク装置から起動します。
- [B] キー・・・パソコン本体のハードディスク装置から起動します。
- [C] キー・・・CD-ROM 装置から起動します。
- [N] キー・・・内蔵 LAN から起動します。
- [D] キー・・・通常の設定された起動装置から起動します。

なお、これらのキーによって設定は変更されません。



メモ

- ・電源を入れたときや再起動時に、キーを押し続けた場合は、設定内容と違う装置から起動することができます。

DISPLAY

表示装置の設定をする

▼ Power On Display

表示装置を選択します。

- ・ Auto-Selected (標準値)
..... システム起動時に外部 CRT ディスプレイを接続しているときは外部 CRT ディスプレイだけに、接続していないときは本体のディスプレイだけに表示する
- ・ Simultaneous 外部 CRT ディスプレイと本体のディスプレイに同時表示する



メモ

- ・SVGA モードに対応していない外部 CRT ディスプレイを接続して、「Simultaneous」を選択した場合、外部 CRT ディスプレイには画面が表示されません。

▼ LCD Display Stretch

内部ディスプレイの表示機能を選択します。

- ・ Enabled 解像度の小さい表示モードを伸張して表示する
表示モードによっては伸張しない場合があります。
- ・ Disabled (標準値) 解像度の小さい表示モードは伸張せずにそのまま表示する

OTHERS

その他の設定をする

▼ CPU Cache (キャッシュ)

CPU内のキャッシュメモリを使用するかどうかの設定をします。
使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ Disabled キャッシュメモリを使用しない
- ・ Enabled (標準値)..... キャッシュメモリを使用する

「Enabled」を選択すると「OPTION」ウィンドウが開きます。
次に「OPTION」ウィンドウの項目について説明します。

● Write Policy

キャッシュメモリへの書き込み方式を設定します。

- ・ Write-back (標準値).. 書き込み方式を「Write-back」に設定する
キャッシュメモリにデータを書き込み、キャッシュメモリの状態に応じてメインメモリに書き込みます。
- ・ Write-through 書き込み方式を「Write-through」に設定する
キャッシュメモリとメインメモリに、同時にデータを書き込みます。

▼ Level 2 Cache

2次キャッシュを使用するかどうかの設定をします。
「CPU Cache」が「Disabled」に設定されている場合は変更できません。

- ・ Enabled (標準値)..... 2次キャッシュを使用する
- ・ Disabled 2次キャッシュを使用しない

▼ Auto Power On (タイマ・オン機能)



メモ

- ・ Windows 98を使用している場合は「Auto Power On」の設定は無効になります。
Windows 98を使用している場合はWindowsのタスクスケジューラを使用してください。
- ・ タイマ・オン機能は1回のみ有効です。起動後は設定が解除されます。

タイマ・オン機能の設定状態を示します。

- ・ Disabled (標準値)..... タイマ・オン機能、リングインジケータ機能とも設定されていない
- ・ Enabled タイマ・オン機能またはリングインジケータ機能が設定されている

タイマ・オン機能の設定は「OPTIONS」ウィンドウで行います。
次に「OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

アラームの時刻の設定は[Space]または[BackSpace]キーで行います。時と分、
月と日の切り替えは□□キーで行います。

● Alarm Time

自動的に電源を入れる時間を設定します。

- ・ Disabled 時間を設定しない

● Alarm Date Option

自動的に電源を入れる月日を設定します。

「Alarm Time」が「Disabled」の場合は、設定できません。

- ・ Disabled 月日を設定しない

● Wake up on LAN

ネットワークで接続された管理者のパソコンからの呼び出しにより、自動的に電源を入れます。

Wake up on LAN 機能を使用する場合は、必ず AC アダプタを接続してください。

- ・ Enabled Wake up on LAN 機能を使用する
- ・ Disabled Wake up on LAN 機能を使用しない



メモ

- ・ パスワードとレジューム機能が設定してある状態で、タイマ・オン機能 (Auto Power On) を設定してシステムを起動させた場合、インスタントセキュリティ状態で起動します。インスタントセキュリティとは、画面表示をオフにし、キー入力 (アキュポイント、マウスを含む) もできない状態のことです。解除するには、パスワードを入力しキーを押します。
- ・ インスタントセキュリティのパスワードは、起動時に入力したパスワードを使用します。

▼ Alarm Volume

アラームの音量を設定します。

- ・ High (標準値) 大きな音でアラーム音を鳴らす
- ・ Medium High と Low の中間レベルの音でアラーム音を鳴らす
- ・ Low 小さな音でアラーム音を鳴らす
- ・ Off アラーム音を鳴らさない

「ALARM VOLUME OPTIONS」ウィンドウが開きます。

次に「ALARM VOLUME OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

● Low Battery Alarm

バッテリー消費時の警告音を設定します。

- ・ Enabled (標準値) 警告音を鳴らす
- ・ Disabled 警告音を鳴らさない

● Panel Close Alarm

ディスプレイが閉じられたことを知らせる警告音を設定します。

- ・ Enabled (標準値) 警告音を鳴らす
- ・ Disabled 警告音を鳴らさない

▼ System Beep

「Low Battery Alarm」「Panel Close Alarm」以外のビープ音を鳴らすかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値) システムビープ音を鳴らす
- ・ Disabled システムビープ音を鳴らさない

CONFIGURATION

▼ Device Config (デバイス・コンフィグ)

ブート時に BIOS が初期化する装置を指定する

- ・ Setup by OS OS をロードするのに必要な装置のみ初期化する
それ以外の装置は OS が初期化します。
- ・ All Devices (標準値). すべての装置を初期化する



メモ

・ プレインストールされている OS を使用する場合は、「All Devices」(標準値)を選択してください。

I/O PORTS (I/O ポート)

▼ Serial

シリアルポートの割り当てを設定します。

- ・ Not Used シリアルポートを割り当てない
 - ・ COM1 (標準値)
 - ・ COM2
 - ・ COM3
 - ・ COM4
- } 指定のポートを割り当てる

▼ Parallel

パラレルポートの割り当てを設定します。

「Not Used」以外を選択すると、「OPTION」ウィンドウが開きます。
「OPTION」ウィンドウの項目について次に説明します。

● DMA

DMA チャンネルを設定する

「Parallel Port MODE」が「ECP」の場合に設定できます。

PCI BUS

PCI バスの割り込みレベルを表示する

PCI バスの割り込みレベルを表示します。

変更はできません。

PC CARD

PCカードのモードを選択する

PCカードのモードを選択します。

- ・ Auto-Selected(標準値)
..... Windows 98 / 95 / 2000 などの、Plug & Play
に対応した OS を使用している場合、選択します。
- ・ Card Bus/16-bit Windows NT (Ver.4 以下) を使用しているとき、ま
たは、Auto-Selected で正常に動作しない Card Bus
対応の PC カードを使用する場合に選択します。
- ・ PCIC Compatible Windows NT (Ver.4 以下) を使用しているとき、ま
たは、Auto-Selected や CardBus/16 bit で正常に
動作しない 16 bit PC カードを使用する場合に選択し
ます。



メモ

- ・ Windows NT モデルにインストールされている「SystemSoft CardWizard-Plus for
Windows NT」がサポートしている PC カードを使用する場合は、「Auto-Selected」モ
ードで動作します。

DRIVES I/O

HDD や CD-ROM の設定

ハードディスク装置と CD-ROM 装置のアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。
変更はできません。

FLOPPY DISK I/O

フロッピーディスク装置のアドレス、割り込みレベル、チャンネルの設定を表示します。
変更はできません。

2

パスワードセキュリティ

本製品では、電源を入れたとき、スタンバイ状態やインスタントセキュリティ状態から復帰するときにパスワードの入力を要求するパスワードセキュリティ機能を設定できません。

パスワードには、ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードがあります。

通常はユーザパスワードを登録してください。

スーパーバイザパスワードは、パソコン本体の環境設定を管理する人のために用意されています。スーパーバイザパスワードを登録すると、スーパーバイザパスワードを知らないユーザは、セットアッププログラムの設定を変更できないようにする、などいくつかの制限を加えることができます。

この制限を加える必要がなければ、ユーザパスワードだけ登録してください。

ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードに関して、次の表をご覧ください。

本節では、セットアッププログラムからのユーザパスワードの設定方法、キーフロッピーディスク*1の作成方法、スーパーバイザパスワードプログラムについて説明します。

| お使いのシステム | ユーザパスワード | | スーパーバイザパスワード |
|-------------------|---|------------------|---|
| | 設定方法 | キーフロッピーディスク*1の作成 | |
| Windows 98 / 95 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Toshiba Hardware Setup ・ セットアッププログラム Toshiba Hardware Setupで設定することをおすすめします。 ☞ 「5章 2 Toshiba Hardware Setup」 | セットアッププログラム | スーパーバイザパスワードプログラム ☞ 「本節 2- スーパーバイザパスワードの登録」 |
| Windows 2000 / NT | <ul style="list-style-type: none"> ・ HWセットアップ ・ セットアッププログラム HWセットアップで設定することをおすすめします。 ☞ 「5章 2 HWセットアップ」 | セットアッププログラム | スーパーバイザパスワード設定ツール ☞ アプリケーションCDのCommon¥ ¥Softwares ¥SVPWTool ¥README.HTM |

*1 ユーザパスワードを忘れてしまった場合に使用します。



メモ

- ・パスワードは、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードでは、違うものを使用してください。
- ・パスワードを登録 / 削除した後、電源を切る前にリセットスイッチを押すと、設定した内容が無効になります。

● パスワードとして使用できる文字

パスワードとして使用できる文字は次のとおりです。これ以外の文字をパスワードに使用することはできません。パスワードを設定する前に、確認してから入力してください。

| 使用できる文字 | | 使用できる文字の一覧 |
|---------|------------------|--|
| アルファベット | A ~ Z (半角) | A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z |
| 数字 | 0 ~ 9 (半角) | 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 |
| 記号 | 単独のキーで入力できるものの一部 | - ^ @ [; :] , . / (スペース) |



お願い

・次の文字はパスワードには使用できません。

全角文字 (2 バイト文字)

日本語入力システムの起動が必要な文字

例: 漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号など
入力するときに **[Shift]** キーを使用する (単独のキーで入力できない) 文字

例: | (パーチカルライン)、& (アンド)、 (チルダ) など

¥ (エン)

[¥] キーや **[** キーを押すと ¥ が入力されます。

① ユーザパスワード

● ユーザパスワードの登録

ユーザパスワードの登録をすると、パスワード解除用フロッピーディスク (キーフロッピーディスク) を作成することができます。

キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの 2DD または 2HD (1.44MB) フロッピーディスクが必要です。

[Esc] キーでセットアッププログラムを起動した場合は、手順 5 から実行してください。

1 **[スタート]** - **[Windows の終了 (U)]** - **[MS-DOS モードで再起動する (M)]** (**[95** **[MS-DOS モードでコンピュータを再起動する (M)]**) を選択する

[スタート] - **[プログラム]** - **[MS-DOS プロンプト]** からは起動できません。

2 **[C]** **[D]** **[Space]** **[¥]** **[T]** **[O]** **[S]** **[S]** **[E]** **[T]** と半角英数字で入力し、**[Enter]** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET」になります。

3 **[U]** **[S]** と半角英数字で入力し、**[Enter]** キーを押す
英語モードに切り替わります。

4 **[T]** **[S]** **[E]** **[T]** **[U]** **[P]** と半角英数字で入力し、**[Enter]** キーを押す
セットアッププログラムが起動します。

5 カーソルバーを「PASSWORD」の「Not Registered」に合わせ、 Space または BackSpace キーを押す

パスワード入力画面が表示されます。

パスワードが登録されている場合は、「PASSWORD」に「Registered」と表示されます。その場合は、パスワードを削除してから、登録してください。

☞ パスワードの削除方法 ☞ 「本節 1- ユーザパスワードの削除」

6 ユーザパスワードを入力する

パスワードは10文字以内で入力します。入力すると1文字ごとに*が表示されます。

☞ 入力できる文字 ☞ 「本節-パスワードとして使用できる文字」

7 Enter キーを押す

1回目のパスワードが確認され、パスワードの再入力画面が表示されます。

8 2回目のパスワードを入力する

パスワードは手順6と同じパスワードを入力してください。入力すると1文字ごとに*が表示されます。

9 Enter キーを押す

ユーザパスワードが登録されます。2回目のパスワードが1回目のパスワードと異なる場合は、再度パスワードの入力画面が表示されます。手順6からやり直してください。

10 パスワードの設定が終了したら、End キーを押す

次のようなメッセージが表示されます。

Are you sure ? (Y/N)
Insert password service disk if necessary

11 キーフロッピーディスクを作成する

次の「キーフロッピーディスクの作成手順」に従って操作してください。

セットアップの内容が正しければ、Y キーを押します。N キーを押すと、セットアップ画面に戻ります。

● キーフロッピーディスクの作成手順

ユーザパスワードを忘れた場合に使用する、キーフロッピーディスクを作成します。キーフロッピーディスクが必要ない場合は、フロッピーディスクをセットしないで、**[Y]** キーを押してください。そのまま終了します。

☞ キーフロッピーディスクの使い方

⇒「本節 1- ユーザパスワードを忘れてしまった場合」

フォーマット済みの2DDまたは2HD（1.44MB）フロッピーディスクをセットする



注意 ・壊されては困るデータの入っているフロッピーディスクは使用しないでください。データが消失します。

[Y] キーを押す

次のメッセージが表示されます。

Password Service Disk Type ? (1:2HD,2:2DD)

セットされているフロッピーディスクが2HDの場合は**[1]** キーを、2DDの場合は

[2] キーを押す

フロッピーディスクへの書き込みを開始します（フロッピーディスクがセットされていない場合は、そのまま終了します）。

フロッピーディスクへの書き込みが終了すると、次のメッセージが表示されます。

Remove the password service disk, then press any key.

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押して終了する

● ユーザパスワードの削除

1 ユーザパスワードの入力画面を表示する

☞ 入力画面の表示方法 ⇒「本節 1- ユーザパスワードの登録」

2 登録してあるユーザパスワードを入力する

入力すると1文字ごとに*が表示されます。

3 **[Enter]** キーを押す

ユーザパスワードが削除されます。

入力したユーザパスワードが登録したユーザパスワードと異なる場合は、ピープ音が鳴りエラーメッセージが表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。手順2からやり直してください。



・入力エラーが3回続いた場合は、以後パスワードの項目にカーソルが移動できなくなります。この場合には、パソコン本体の電源を入れ直し、再度設定を行なってください。

● ユーザパスワードを忘れてしまった場合

キーフロッピーディスクを使用して、登録したパスワードの解除と再設定ができます。また、再設定したパスワードのキーフロッピーディスクも作成できます。

キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの2DDまたは2HD（1.44MB）フロッピーディスクが必要です。



メモ

・キーフロッピーディスクは、ハイパーネーション機能実行時には使用できません。ハイパーネーション機能実行時に、パスワードを忘れてしまった場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。

パスワードの解除を保守サービスに依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要です。

「Password=」と表示されたら、キーフロッピーディスクをフロッピーディスク装置にセットして、**[Enter]**キーを押す

パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

Set Password Again ? (Y/N)

ユーザパスワードを再設定する場合は、**[Y]**キーを押す

セットアップ画面が表示されます。「本節 1- ユーザパスワードの登録」の手順5以降を行なってください。再設定後、システムが再起動します。

ユーザパスワードを再設定しない場合は、**[N]**キーを押す

パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

Remove the Disk, then press any key

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押すと、システムが再起動します。

● ユーザパスワードの変更

ユーザパスワードの削除を行ってから、登録を行なってください。

☞ 「本節 1- ユーザパスワードの削除」、「本節 1- ユーザパスワードの登録」

② スーパーバイザパスワード



メモ

- ・ **2000 NT** スーパーバイザパスワードは「スーパーバイザパスワード設定ツール」で設定します。
 - ☞ 詳細について ☞ アプリケーション CD 内の ¥Softwares¥SVPWTool¥readme.htm
- ・ スーパーバイザパスワードのキーフロッピーディスクは作成できません。

● スーパーバイザパスワードの登録



メモ

- ・ スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方が登録されている場合は、セットアップシステム起動時のパスワードはスーパーバイザパスワードを入力してください。

1 [スタート]-[Windowsの終了(U)]-[MS-DOSモードで再起動する(M)](**95**[MS-DOSモードでコンピュータを再起動する(M)])を選択する

[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]からも起動できます。

2 **C** **D** **S** **p** **a** **c** **e** **¥** **T** **O** **S** **S** **E** **T** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

3 **S** **V** **P** **W** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
次の画面が表示されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Not Registered
Do you want to register the supervisor password < Y/N > ?
```

4 **Y** キーを押す

スーパーバイザパスワード入力画面が表示されます。**N** キーを押すと、プロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

```
Enter Password =
```

5 スーパーバイザパスワードを入力する

スーパーバイザパスワードは半角 10 文字以内まで入力できます。入力すると、1 文字ごとに * が表示されます。

☞ 入力できる文字 ☞ 「本節 - パスワードとして使用できる文字」

```
Enter Password = * * * * *
```

6 **Enter** キーを押す

パスワードを再度入力する画面が表示されます。

```
Verify Password =
```

- 7** 再度同じパスワードを入力し、**Enter** キーを押す
次の画面が表示されます。スーパーバイザパスワードが登録されました。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Registered
USER PASSWORD MODE = Unabled to run SETUP
Do you want to change the setting < Y/N > ?
```

2 回目に入力したパスワードが、1 回目に入力したパスワードと異なる場合は、次の画面が表示されます。

```
Password verify error !
Do you want to retry < Y/N > ?
```

この場合、**Y** キーを押し、手順 5 からやり直してください。**N** キーを押すと、登録を行わずにプロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

- 8** ユーザパスワードからパソコン本体を起動したときの制限事項の設定を変更する

続けてユーザパスワードからパソコン本体を起動したときの制限事項の設定を変更できます。ご購入時は「USER PASSWORD MODE = Unabled to run SETUP」(ユーザパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできない)に設定されています。設定を変更する場合は**Y** キーを押します。画面が「ユーザパスワードからの起動による制限事項の設定と解除」の手順 4 の画面に変わりますので、手順 4 以降を参照してください。

設定を変更しない場合は**N** キーを押し、電源スイッチを押して電源を切ってください。電源を切る前に、リセットスイッチなどで再起動した場合、登録したパスワードは無効となります。

スーパーバイザパスワードの削除

- 1** [スタート]-[Windows の終了(U)]-[MS-DOS モードで再起動する(M)](**95**[MS-DOS モードでコンピュータを再起動する(M)])を選択する

[スタート]-[プログラム]-[MS-DOS プロンプト]からも起動できます。

- 2** **C D Space ¥ T O S S E T** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

- 3** **S V P W** と半角英数字で入力し、**Enter** キーを押す
次の画面が表示されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Registered
Do you want to delete the supervisor password < Y/N > ?
```

4 **Y** キーを押す

スーパーバイザパスワード入力画面が表示されます。**N** キーを押すと、プロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

```
Enter Password =
```

5 登録されているスーパーバイザパスワードを入力する

```
Enter Password = * * * * *
```

6 **Enter** キーを押す

入力したパスワードが正しい場合は、次の画面が表示され、登録されていたパスワード削除されます。

```
SUPERVISOR PASSWORD = Not Registered
```

入力したパスワードが登録されているパスワードと異なる場合は、次の画面が表示されます。

```
Password verify error !  
Do you want to retry < Y/N > ?
```

この場合、**Y** キーを押し、手順5からやり直してください。**N** キーを押すと、削除を行わずにプロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。

入力エラーが3回続くと「Password access denied!」が表示され、プロンプトが「C:¥TOSSET>」に戻ります。この場合は、電源スイッチでいったんパソコン本体の電源を切り、再度電源を入れ直してから同じ手順で削除の設定を行なってください。リセットスイッチなどで再起動しても、削除の設定を行うことはできません。

7 電源スイッチを押して、電源を切る

電源を切る前に、リセットスイッチなどで再起動した場合、パスワードの削除は無効となります。

● **スーパーバイザパスワードの変更**

スーパーバイザパスワードの削除を行ってから、登録を行なってください。

☞ 「本節 2- スーパーバイザパスワードの削除」、「本節 2- スーパーバイザパスワードの登録」

● ユーザパスワードからの起動による制限事項の設定と解除

スーパーバイザパスワードとユーザパスワードの両方を設定している場合は、ユーザパスワードからパソコン本体を起動したとき、次のような制限事項を設定することができます。

- セットアッププログラムへのアクセスを禁止する
- セットアッププログラムの「Processor Serial Number」を表示しない
- 起動時の[F]、[B]、[C]キーの機能（Boot Priorityを変更して起動させる）を無効にする

1 [スタート]-[Windowsの終了(U)]-[MS-DOSモードで再起動する(M)]
([MS-DOSモードでコンピュータを再起動する(M)])を選択する
[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]からも起動できます。

2 [C][D][Space][¥][T][O][S][S][E][T] と半角英数字で入力し、[Enter] キーを押す
プロンプトが「C:¥TOSSET>」になります。

3 [S][V][P][W]/[U] と半角英数字で入力し、[Enter] キーを押す
次の画面が表示されます。

```
USER PASSWORD MODE = Unable to run SETUP
Do you want to change the setting < Y/N > ?
```

4 [Y] キーを押す
スーパーバイザパスワードを入力する画面が表示されます。

```
Supervisor password =
```

スーパーバイザパスワードが登録されていない場合は、「Unable to change user password mode because supervisor password is not registered. (スーパーバイザパスワードが登録されていないので、ユーザパスワードモードの制限事項を設定することはできません)」というメッセージが表示されます。

5 スーパーバイザパスワードを入力し、[Enter] キーを押す
現在の設定が表示され、選択項目が表示されます。

```
USER PASSWORD MODE = Unable to run SETUP
1. Able to run SETUP
2. Unable to run SETUP
Select number < 1/2 > ?
```

1. Able to run SETUP

ユーザパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできる

2. Unable to run SETUP

ユーザパスワードで、セットアッププログラムにアクセスできない

- 6 制限事項を選び、**1**、**2**、**3** キーのどれかを押す
選んだキーの制限事項が表示されます。

【例】1 を選んだ場合

USER PASSWORD MODE = Able to run SETUP

- 7 電源スイッチを押して、電源を切る
電源を切る前に、リセットスイッチなどで再起動した場合、制限事項の設定や変更は無効となります。

3 パスワードの入力

パスワードが設定されている場合、電源を入れると次のようになります。

「Password=_ 」と表示される

画面が消えた状態になる（タイマ・オン機能が設定されているとき）

この場合は、次のようにするとパソコン本体が起動します。

- 1 設定したとおりにパスワードを入力し、**Enter** キーを押す

Arrow  LED、Numeric  LEDは、パスワードを設定したときと同じ状態にしてください。
ユーザパスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

 キーフロッピーディスクの使い方

⇒「本節 1- ユーザパスワードを忘れてしまった場合」



・パスワードの入力ミスが3回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

● 起動時にユーザパスワードを入力した場合

インスタントセキュリティ状態の場合、再びパソコン本体を起動するにはユーザパスワードを入力してください。スーパーバイザパスワードでも起動できますが、ユーザパスワードから起動したときに受ける制限事項を設定している場合、同じように機能を制限されます。

● 起動時にスーパーバイザパスワードを入力した場合

インスタントセキュリティ状態の場合、再びパソコン本体を起動するにはスーパーバイザパスワードを入力してください。ユーザパスワードの入力は受け付けません。